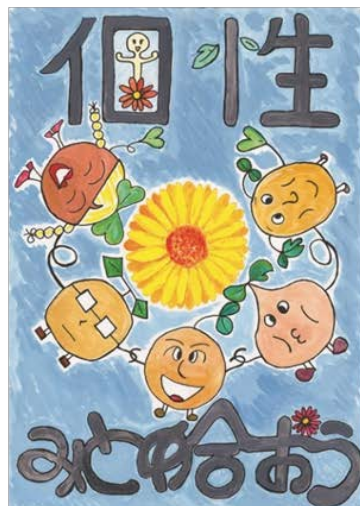


人権に関する市民意識調査

— 意識調査のまとめ —

(令和3年9月調査)

平成29年度
～令和3年度
人権啓発
ポスター
コンクール
最優秀賞作品



目 次

I	人権に関する市民意識調査の概要	1
II	回答者の属性	3
III	調査の結果	4
資料		
	調査票	58

I 人権に関する市民意識調査の概要

1 調査目的

「すべての人が人間として尊重され、心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる差別のない明るい社会の実現」を目指し、今後の人権教育・啓発活動を実施していくにあたっての基礎資料とするため、市民の人権に対する意識の把握を目的とする。

2 調査対象

令和3年8月16日現在で、長野市に在住する18歳以上80歳未満の男女各1,000人計2,000人

3 抽出方法

住民基本台帳より、男女別・年齢別に無作為抽出

年齢	性別		合計	対象者数	
	男性	女性		男性	女性
18歳～30歳未満	175	175	350	21,018	19,563
30歳～40歳未満	165	165	330	19,414	18,918
40歳～50歳未満	165	165	330	26,808	26,087
50歳～60歳未満	165	165	330	25,345	25,339
60歳～70歳未満	165	165	330	22,454	23,366
70歳～80歳未満	165	165	330	22,855	26,208
合計	1,000	1,000	2,000	137,894	139,481

4 調査方法

調査票を郵送し、個人へ記入を依頼。その後、返信用封筒（料金受取人払）により調査票を返送してもらう郵送調査法による（調査票は別紙のとおり）。

5 調査期間

令和3年9月16日～令和3年10月14日

6 送付・回答状況

送付数：2,000通 未送達数：6通

回答数：725通（回答率：36.36%）

7 調査内容

回答者の属性

- (1) 人権への関心について
- (2) 様々な人権課題について
- (3) 人権侵害の経験について
- (4) 市の人権教育・啓発について
- (5) 人権課題解決のための方策について

8 調査票の集計

電子計算機による集計（委託）

9 報告書の見方

調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。

アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。

年代別の集計については、回答者数を考慮して18歳～39歳、40歳～59歳、60歳以上（60歳～80歳）の3区分で集計した。

属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。

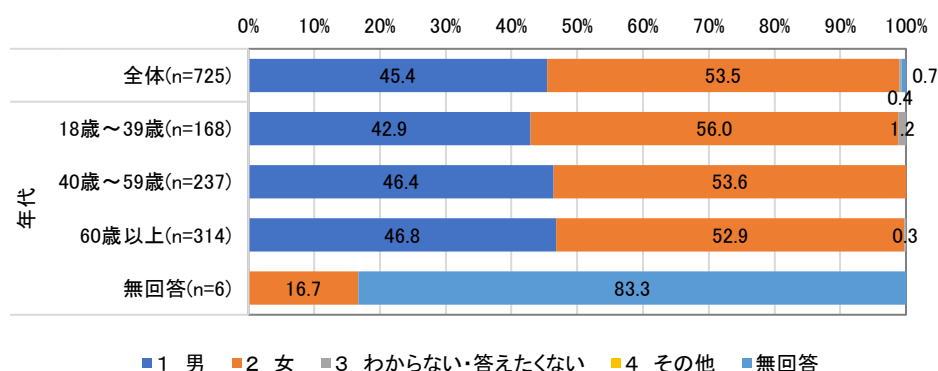
設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

回答者数が少ない場合参考値として掲載。データの精度が低くなる為その分析は行わないものとする。

II 回答者の属性

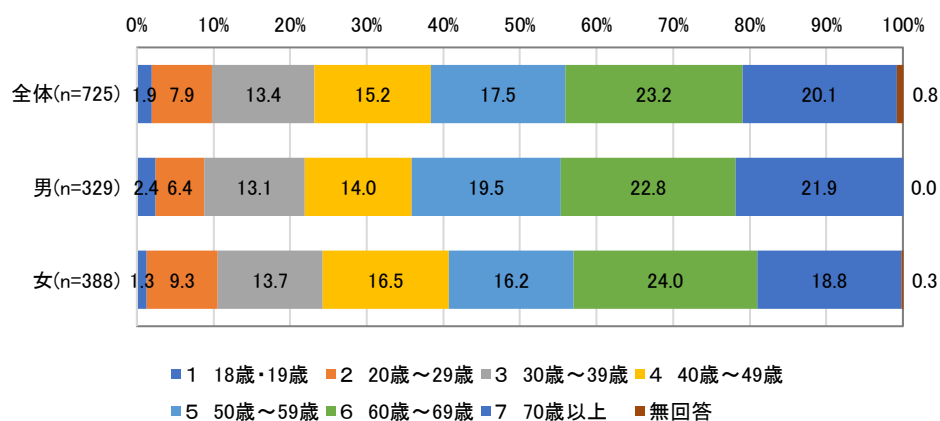
問A 性別

選択肢	回答数	割合
1 男	329	45.4%
2 女	388	53.5%
3 わからない・答えたくない	3	0.4%
4 その他	0	0.0%
無回答	5	0.7%
合計	725	100.0%



問B 年齢

選択肢	回答数	割合
1 18歳・19歳	14	1.9%
2 20歳～29歳	57	7.9%
3 30歳～39歳	97	13.4%
4 40歳～49歳	110	15.2%
5 50歳～59歳	127	17.5%
6 60歳～69歳	168	23.2%
7 70歳以上	146	20.1%
無回答	6	0.8%
合計	725	100.0%



Ⅲ 調査の結果

1 人権への関心について

質問1 あなたは「人権」について、どのような印象を持っていますか。次の(1)、(2)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

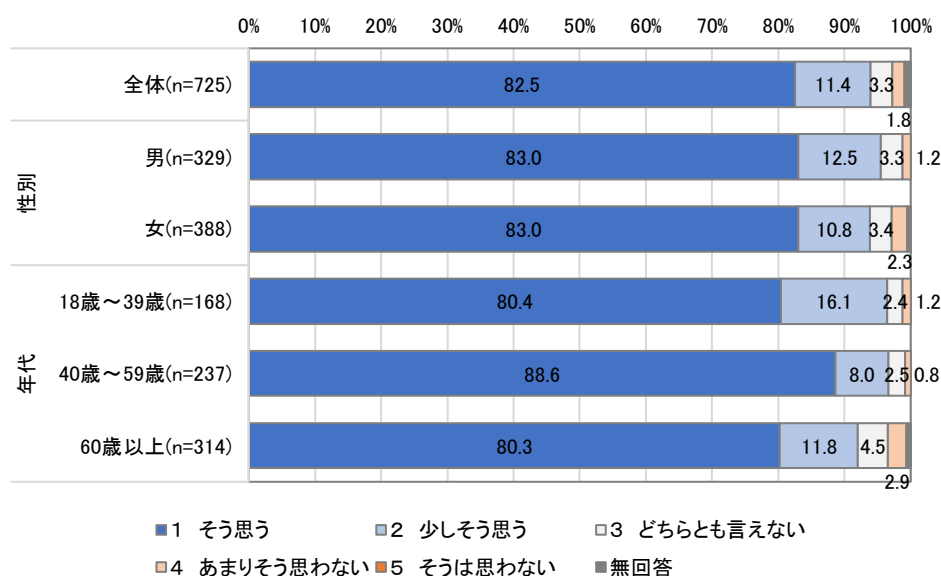
(1) 重要である

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	598	82.5%
2 少しそう思う	83	11.4%
3 どちらとも言えない	24	3.3%
4 あまりそう思わない	13	1.8%
5 そうは思わない	1	0.1%
無回答	6	0.8%
合計	725	100.0%

「人権」が「重要である」ということについては、「そう思う」(82.5%)が約8割と最も多くなっている。次に、「少しそう思う」(11.4%)、「どちらとも言えない」(3.3%)と続いている。「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、93.9%と9割を超えている。

性別でみると、男女とも、「そう思う」が83.0%と8割を超えている。「そう思う」「少しそう思う」の合計も、95.5%、93.8%と、9割を超えている。

年代別でみると、「そう思う」はいずれの年代も8割を超えている。特に、「40歳～59歳」(88.6%)では、約9割となっている。「そう思う」、「少しそう思う」の合計も、いずれの年代も、9割を超えている。



質問1 あなたは「人権」について、どのような印象を持っていますか。次の(1)、(2)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

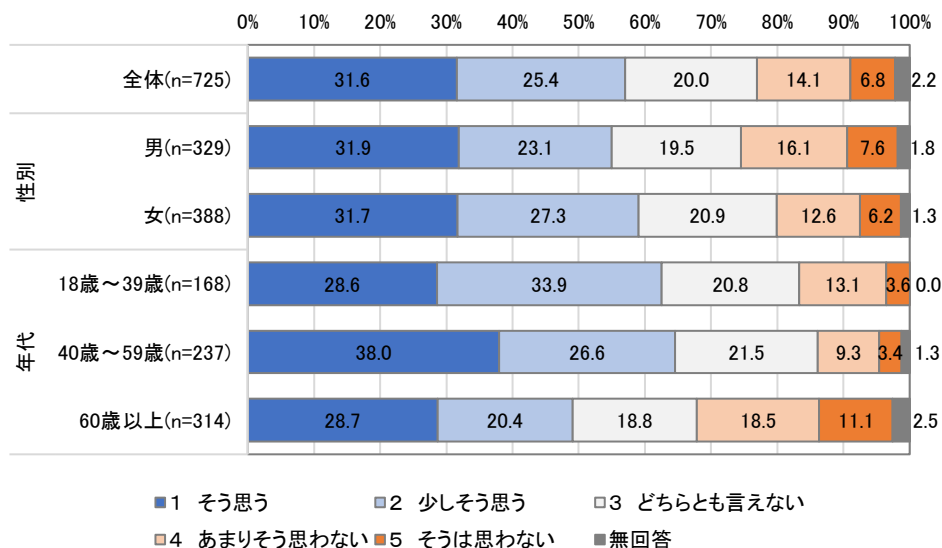
(2) 自分に関係が深い

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	229	31.6%
2 少しそう思う	184	25.4%
3 どちらとも言えない	145	20.0%
4 あまりそう思わない	102	14.1%
5 そうは思わない	49	6.8%
無回答	16	2.2%
合計	725	100.0%

「人権」が「自分に関係が深い」ということについては、「そう思う」(31.6%)が約3割と最も多くなっている。次に、「少しそう思う」(25.4%)、「どちらとも言えない」(20.0%)と続いている。「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、57.0%と約6割となっている。一方、「そうは思わない」、「あまりそう思わない」の合計は、20.9%と約2割となっている。

性別でみると、男女とも、「そう思う」が3割を超え、最も多い。「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、男性で55.0%、女性で59.0%と、女性の回答割合がやや高くなっている。一方、「そうは思わない」、「あまりそう思わない」の合計は、男性で23.7%、女性で18.8%と、男性の回答割合がやや高くなっている。

年代別でみると、「そう思う」については、「40歳～59歳」(38.0%)が約4割と、「18歳～39歳」(28.6%)、「60歳以上」(28.7%)よりも回答割合がやや高くなっている。「少しそう思う」については、「18歳～39歳」(33.9%)が約3割と、「40歳～59歳」(26.6%)、「60歳以上」(20.4%)よりも回答割合がやや高くなっている。「そう思う」、「少しそう思う」の合計は、「18歳～39歳」(62.5%)、「40歳～59歳」(64.6%)が6割を超え、「60歳以上」(49.1%)よりも回答割合が高くなっている。一方、「そうは思わない」、「あまりそう思わない」の合計は、「60歳以上」(29.6%)で約3割と、「18歳～39歳」(16.7%)、「40歳～59歳」(12.7%)よりも回答割合が高くなっている。



1 人権への関心について

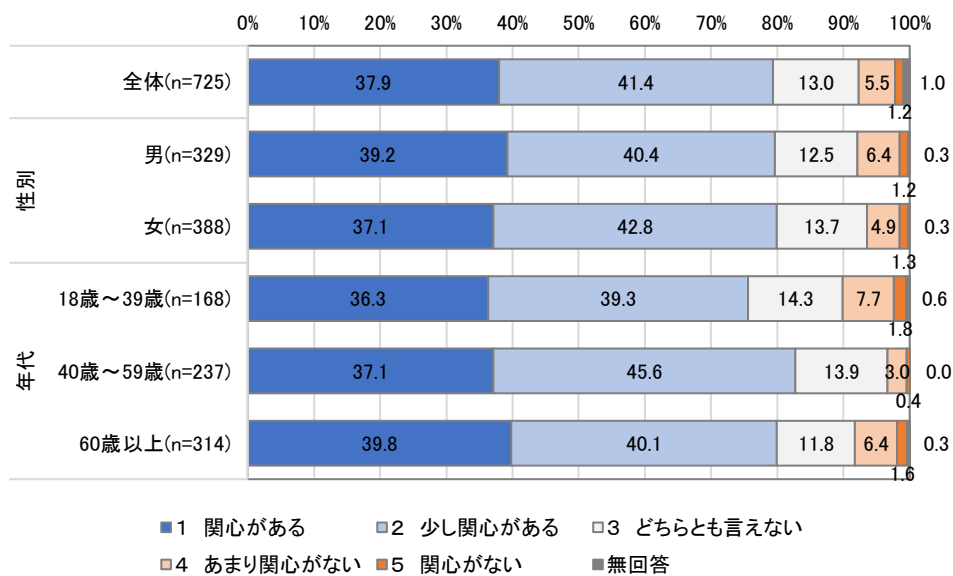
質問2 日本の社会では、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人などの差別をはじめ、さまざまな人権課題がありますが、あなたは、人権問題（侵害）に関心がありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 関心がある	275	37.9%
2 少し関心がある	300	41.4%
3 どちらとも言えない	94	13.0%
4 あまり関心がない	40	5.5%
5 関心がない	9	1.2%
無回答	7	1.0%
合計	725	100.0%

人権問題（侵害）に関心については、「少し関心がある」（41.4%）が約4割と最も多くなっている。次に、「関心がある」（37.9%）、「どちらとも言えない」（13.0%）と続いている。「関心がある」、「少し関心がある」の合計は、79.3%と約8割となっている。

性別でみると、男女とも、「少し関心がある」が約4割と最も多く、同様の傾向となっている。

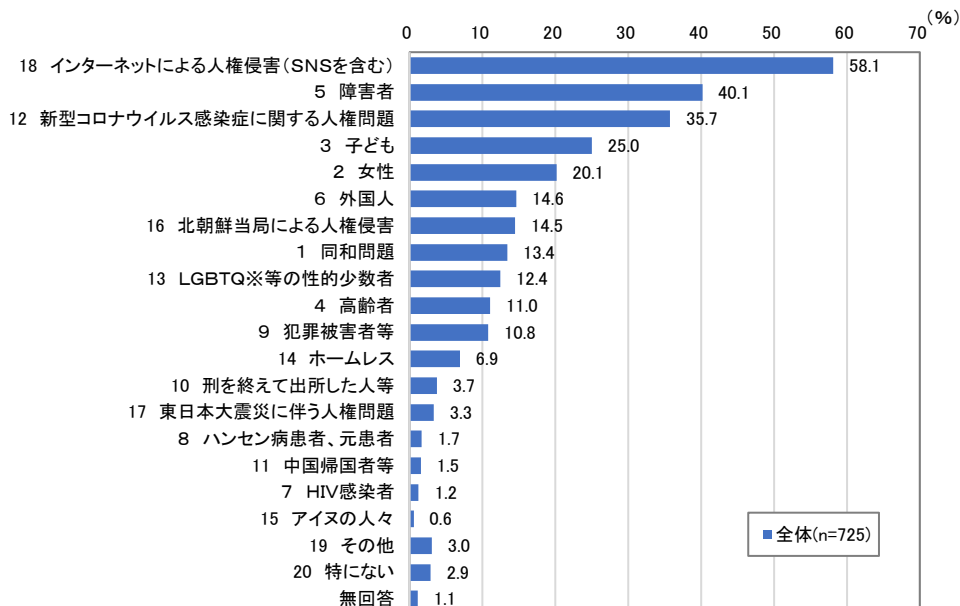
年代別でみると、いずれの年代も「少し関心がある」が最も多い回答となっている。「関心がある」、「少し関心がある」の合計は、「18歳～39歳」（75.6%）、「40歳～59歳」（82.7%）、「60歳以上」（79.9%）で約8割となっている。



質問3 人権に関わる次のことがらについて、切実な問題と思われるものはどれですか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 同和問題(部落差別)	97	13.4%
2 女性	146	20.1%
3 子ども	181	25.0%
4 高齢者	80	11.0%
5 障害者	291	40.1%
6 外国人(ヘイトスピーチ、人種差別を含む)	106	14.6%
7 HIV感染者(エイズ感染者等を含む)	9	1.2%
8 ハンセン病患者、元患者	12	1.7%
9 犯罪被害者等	78	10.8%
10 刑を終えて出所した人等	27	3.7%
11 中国帰国者等	11	1.5%
12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷、いじめ等)	259	35.7%
13 LGBTQ※等の性的少数者	90	12.4%
14 ホームレス	50	6.9%
15 アイヌの人々	4	0.6%
16 北朝鮮当局による人権侵害(拉致問題等)	105	14.5%
17 東日本大震災に伴う人権問題	24	3.3%
18 インターネットによる人権侵害(SNSを含む)	421	58.1%
19 その他	22	3.0%
20 特にない	21	2.9%
無回答	8	1.1%
対象	725	-

人権に関わる切実な問題と思うことは、「インターネットによる人権侵害(SNSを含む)」(58.1%)が約6割と最も多くなっている。次に、「障害者」(40.1%)、「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷、いじめ等)」(35.7%)と続いている。

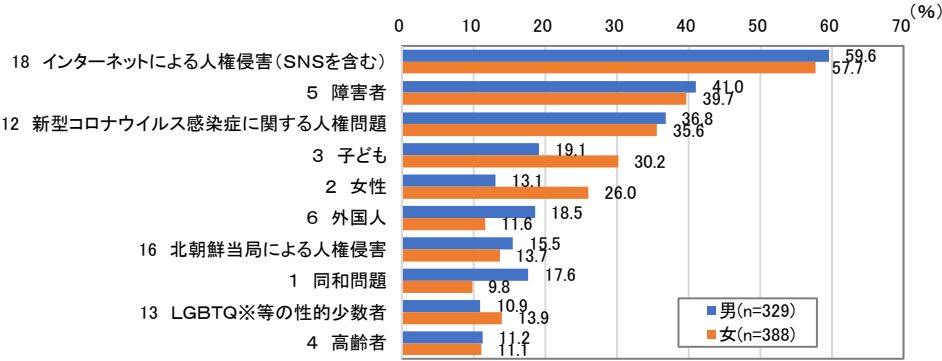


※LGBTQ…女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシュアル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

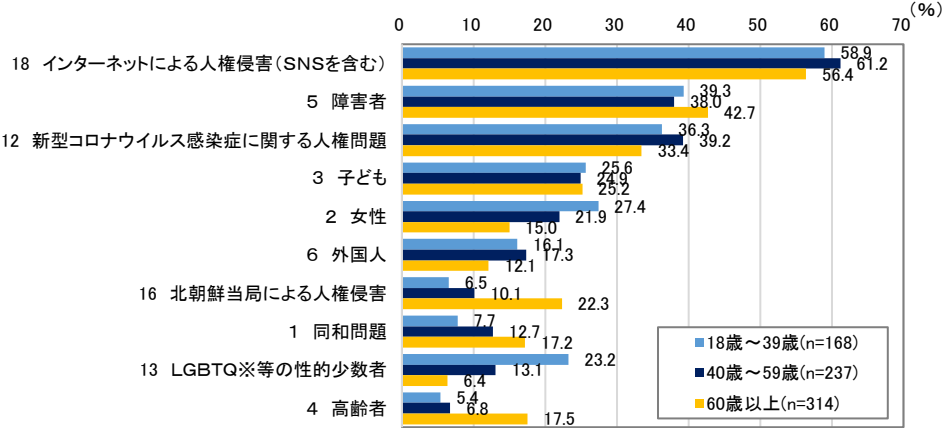
その他を選択し、記入された主なもの…宗教、病気、職業 など

1 人権への関心について

上位10項目を性別で見ると、「インターネットによる人権侵害（SNSを含む）」、「障害者」、「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷、いじめ等）」という上位3項目は、男女とも同じ傾向になっている。一方、「子ども」、「女性」では、「女性」が30.2%、26.0%と、「男性」よりも11.1ポイント、12.9ポイント高くなっている。「外国人（ヘイトスピーチ、人種差別を含む）」、「同和問題（部落差別）」では、「男性」が18.5%、17.6%と、「女性」よりも6.9ポイント、7.8ポイント高くなっている。



上位10項目を年代別で見ると、上位4項目は同様の傾向になっている。「女性」、「LGBTQ※等の性的少数者」については、年代が低くなるほど回答割合が高くなっている。「北朝鮮当局による人権侵害（拉致問題等）」、「同和問題（部落差別）」、「高齢者」については、年代が高くなるほど回答割合が高くなっている。



2 様々な人権課題について

質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

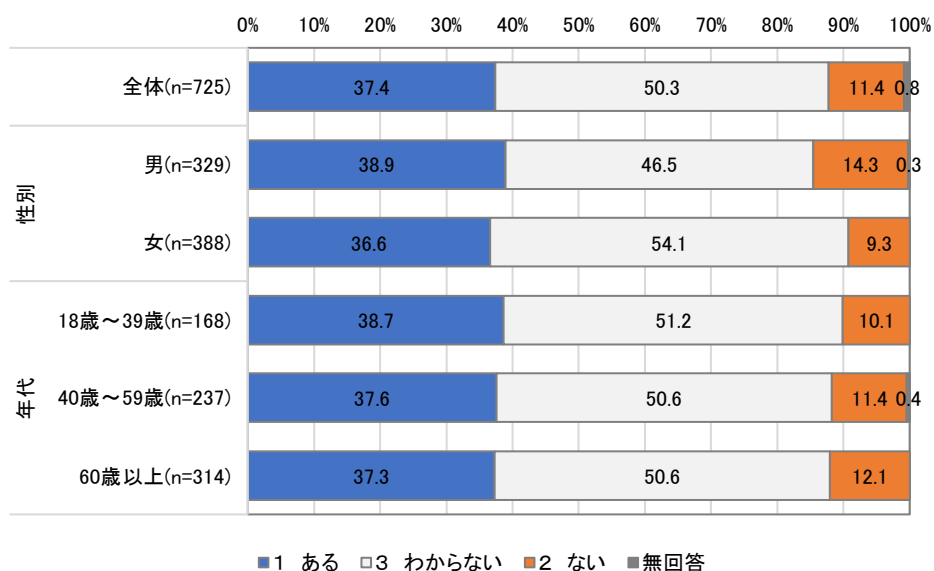
（1）あなたは、部落差別が今もあると思いますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 ある	271	37.4%
2 ない →(3)へ	83	11.4%
3 わからない →(3)へ	365	50.3%
無回答	6	0.8%
合計	725	100.0%

部落差別が今もあると思うかについては、「わからない」（50.3%）が約5割と最も多くなっている。次に、「ある」（37.4%）、「ない」（11.4%）と続いている。

性別で見ると、男女とも、「わからない」が最も多くなっている。「ある」は、「男性」（38.9%）、「女性」（36.6%）と約4割となっている。一方、「ない」は、「女性」（9.3%）よりも「男性」（14.3%）の回答割合がやや高くなっている。

年代別で見ると、年代による差は少ないといえる。



2 様々な人権課題について

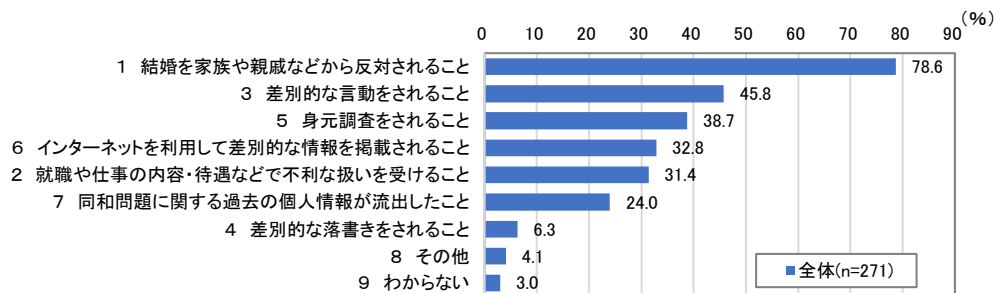
質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

(2) (1) で「1 ある」と答えた方にお聞きします。同和問題（部落差別）に関することがらで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

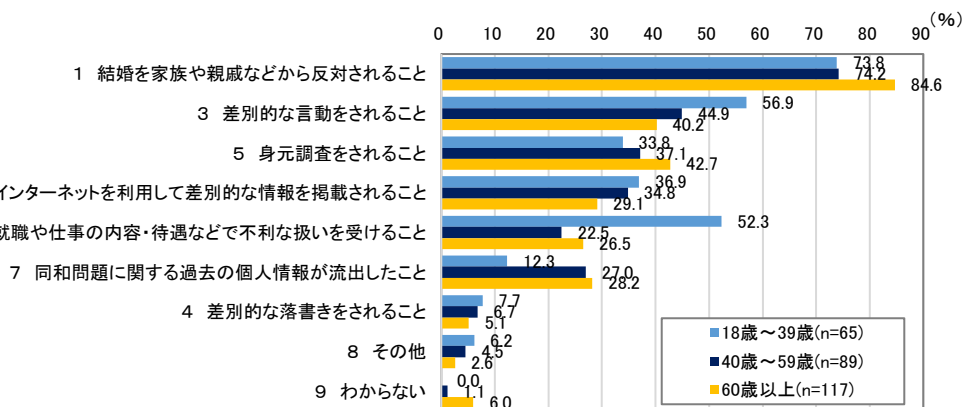
選択肢	回答数	割合
1 結婚を家族や親戚などから反対されること	213	78.6%
2 就職や仕事の内容・待遇などで不利な扱いを受けること	85	31.4%
3 差別的な言動をされること	124	45.8%
4 差別的な落書きをされること	17	6.3%
5 身元調査をされること	105	38.7%
6 インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること	89	32.8%
7 同和問題に関する過去の個人情報が流出したこと	65	24.0%
8 その他	11	4.1%
9 わからない	8	3.0%
対象	271	-

同和問題（部落差別）に関して人権上の問題は、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(78.6%) が約8割と最も多くなっている。次に、「差別的な言動をされること」(45.8%)、「身元調査をされること」(38.7%) と続いている。

性別でみると、男女による差は少ないといえる。



年代別でみると、いずれの年代も、「結婚を家族や親戚などから反対されること」が最も多くなっている。「40歳～59歳」、「60歳以上」では、「差別的な言動をされること」、「身元調査をされること」が上位3項目となっている。一方、「18歳～39歳」では、2番目に「差別的な言動をされること」、3番目には「就職や仕事の内容・待遇などで不利な扱いを受けること」となっている。



その他を選択し、記入された主なもの … 差別的な目で見られること、学校での教育のあり方 など

質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

（3）結婚していないお子さんがいる方は ア・イ に、結婚されていない方は ウ にお答えください。どちらでもない方は（4）へお進みください。

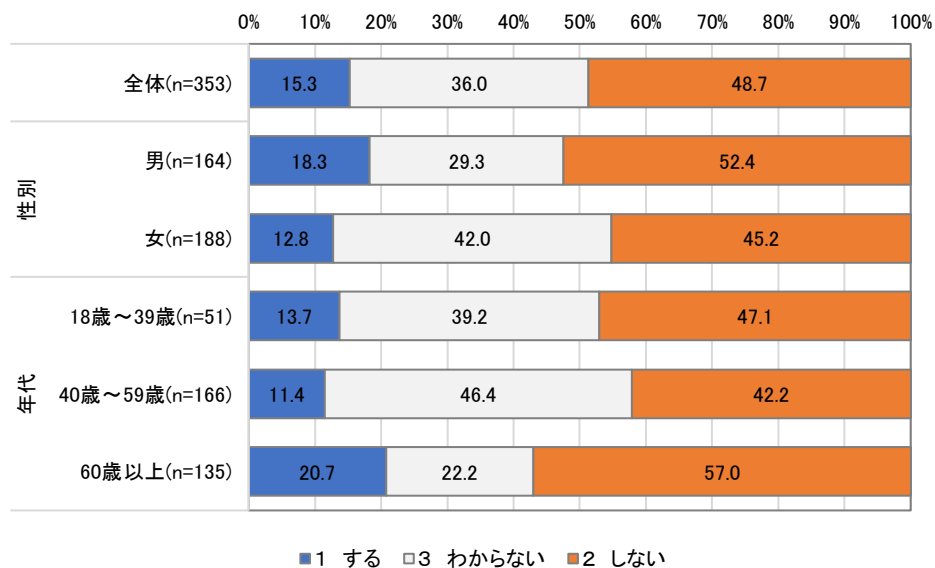
ア 「結婚していないお子さんがいる方がお答えください。」あなたのお子さんが結婚しようとする際に、相手の身元調査をしますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 する	54	15.3%
2 しない	172	48.7%
3 わからない	127	36.0%
合計	353	100.0%

子どもが結婚する際に身元調査をするかについては、「しない」（48.7%）が約5割と最も多くなっている。次に、「わからない」（36.0%）、「する」（15.3%）と続いている。

性別でみると、男女とも、「しない」が最も多くなっている。「男性」（52.4%）では5割を超え、「女性」（45.2%）よりも回答割合がやや高くなっている。一方、「する」は、「男性」（18.3%）が約2割と、「女性」（12.8%）よりもやや高くなっている。また、「わからない」は、「女性」（42.0%）が約4割と、「男性」（29.3%）よりも回答割合が高くなっている。

年代別でみると、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」は、同じ傾向になっている。一方、「60歳以上」は、「しない」（57.0%）、「する」（20.7%）とも、他の年代よりも回答割合が高くなっている。



2 様々な人権課題について

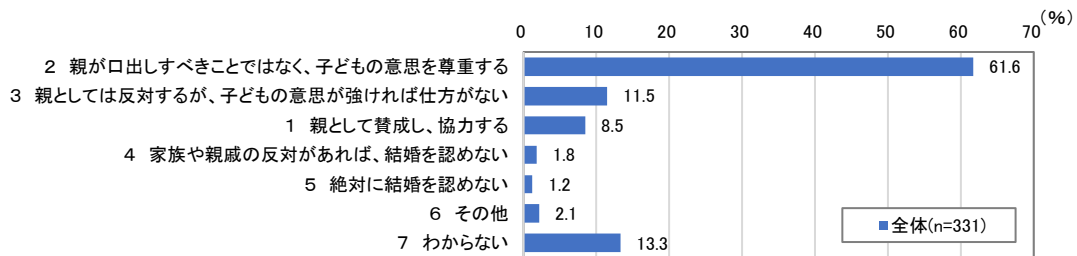
質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

(3) 結婚していないお子さんがいる方は ア・イ に、結婚されていない方は ウ にお答えください。どちらでもない方は (4) へお進みください。

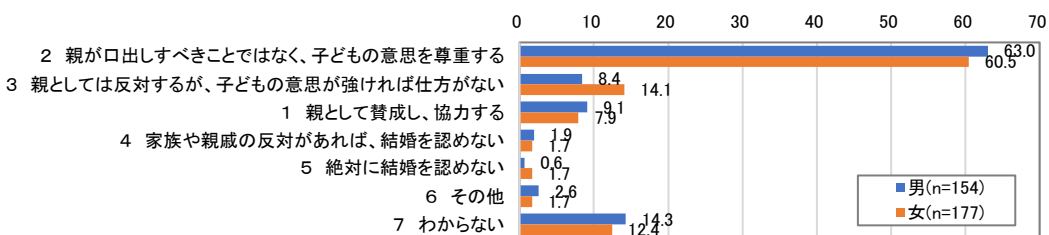
イ 「結婚していないお子さんがいる方がお答えください。」あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落出身の人であると知った場合、あなたはどのようにしますか。次の中から番号を一つ選び、右の口記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 親として賛成し、協力する	28	8.5%
2 親が口出しすべきことではなく、子どもの意思を尊重する	204	61.6%
3 親としては反対するが、子どもの意思が強ければ仕方がない	38	11.5%
4 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない(家族や親戚の反対がなければ認める)	6	1.8%
5 絶対に結婚を認めない	4	1.2%
6 その他	7	2.1%
7 わからない	44	13.3%
合計	331	100.0%

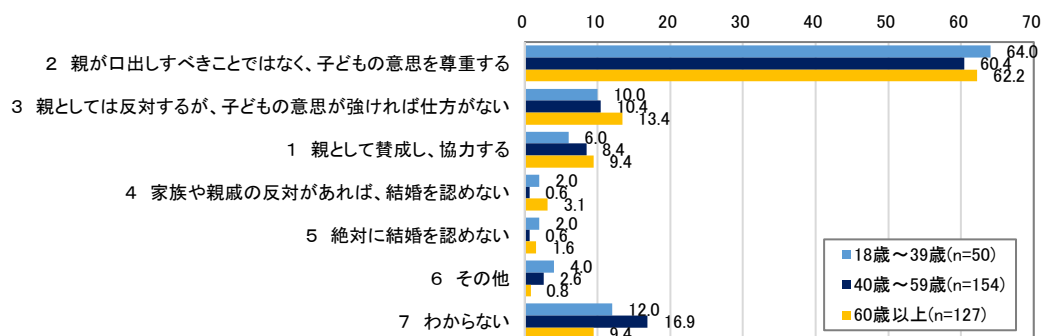
自分の子どもの結婚相手が被差別部落出身者の場合は、「親が口出しすべきことではなく、子どもの意思を尊重する」(61.6%) が約6割と最も多くなっている。次に、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければ仕方がない」(11.5%)、「親として賛成し、協力する」(8.5%)と続いている。



性別でみると、男女による差は少ないといえる。



年代別でみると、年代による差は少ないといえる。



その他を選択し、記入された主なもの … その人の人柄、本人の意思の尊重 など

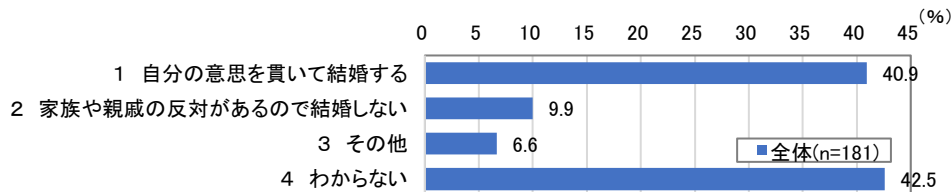
質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

（3）結婚していないお子さんがいる方は ア・イ に、結婚されていない方は ウ にお答えください。どちらでもない方は（4）へお進みください。

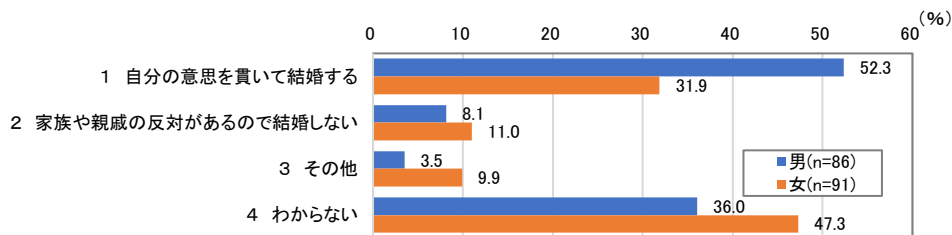
ウ 「結婚されていない方がお答えください。」あなたが被差別部落出身の人と恋愛し結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 自分の意思を貫いて結婚する	74	40.9%
2 家族や親戚の反対があるので結婚しない	18	9.9%
3 その他	12	6.6%
4 わからない	77	42.5%
合計	181	100.0%

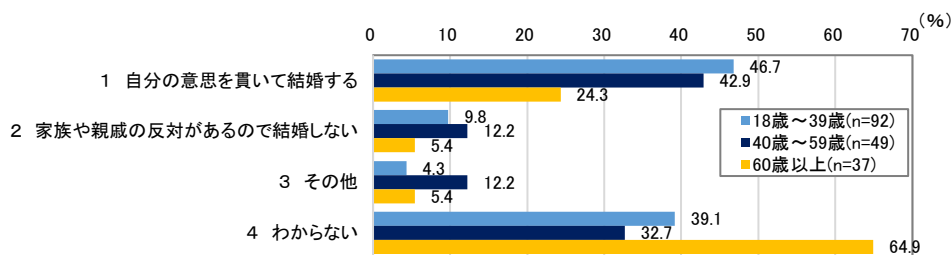
被差別出身の人と恋愛し結婚しようとして家族や親戚から強い反対を受けた場合は、「わからない」（42.5%）が最も多くなっている。次に、「自分の意思を貫いて結婚する」（40.9%）、「家族や親戚の反対があるので結婚しない」（9.9%）と続いている。



性別でみると、「男性」では、「自分の意思を貫いて結婚する」（52.3%）が最も多くなっている。一方、「女性」では、「わからない」（47.3%）が最も多くなっている。「家族や親戚の反対があるので結婚しない」では、「男性」（8.1%）よりも「女性」（11.0%）の回答割合がやや高くなっている。



年代別でみると、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」で「自分の意思を貫いて結婚する」が最も多くなっている。「60歳以上」では「わからない」（64.9%）が最も多くなっている。「家族や親戚の反対があるので結婚しない」では、「18歳～39歳」（9.8%）、「40歳～59歳」（12.2%）よりも、「60歳以上」（5.4%）で回答割合がやや低くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … 話し合う、根気良く説得する など

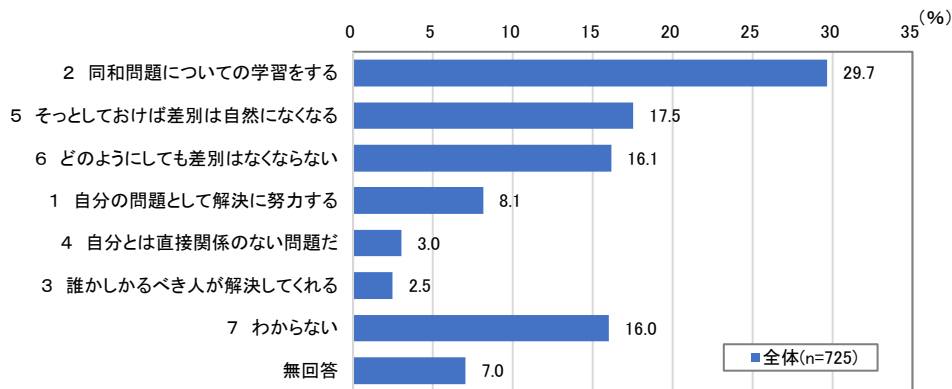
2 様々な人権課題について

質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

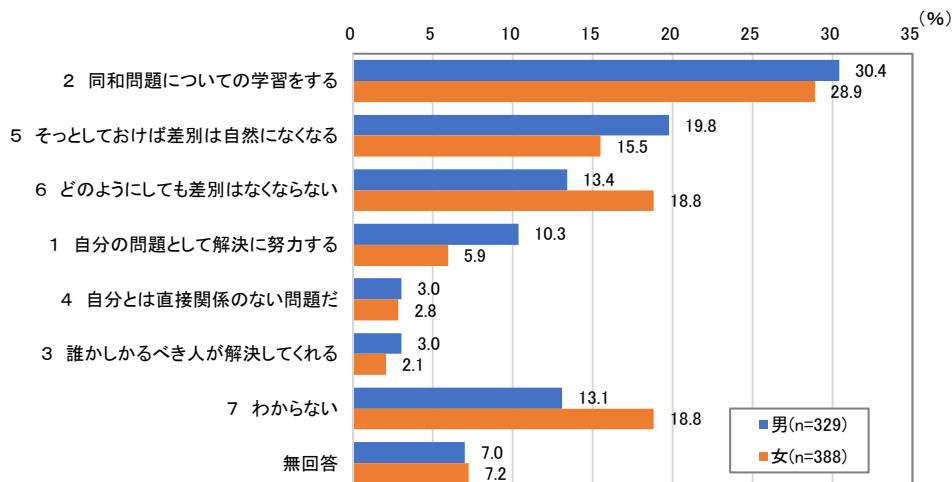
（4）同和問題（部落差別）の解決に対するあなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 自分の問題として解決に努力する	59	8.1%
2 同和問題についての学習をする	215	29.7%
3 誰かしかるべき人が解決してくれる	18	2.5%
4 自分とは直接関係のない問題だ	22	3.0%
5 そっとしておけば差別は自然になくなる	127	17.5%
6 どのようにしても差別はなくなる	117	16.1%
7 わからない	116	16.0%
無回答	51	7.0%
合計	725	100.0%

同和問題（部落差別）の解決に対する考えは、「同和問題についての学習をする」（29.7%）が最も多くなっている。次に、「そっとしておけば差別は自然になくなる」（17.5%）、「どのようにしても差別はなくなる」（16.1%）、「わからない」（16.0%）と続いている。

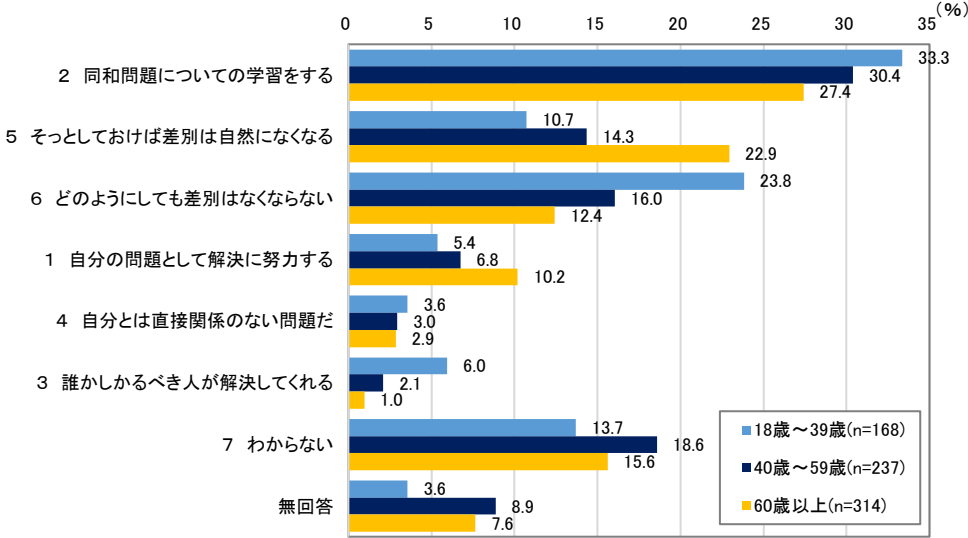


性別でみると、「自分の問題として解決に努力する」、「そっとしておけば差別は自然になくなる」では、「女性」よりも「男性」の回答割合がやや高くなっている。一方、「どのようにしても差別はなくなる」、「わからない」では、「男性」よりも「女性」の回答割合がやや高くなっている。



2 様々な人権課題について

年代別でみると、「自分の問題として解決に努力する」、「そっとしておけば差別は自然になくなる」では、年代が高くなるほど回答割合が高くなっている。一方、「同和問題についての学習をする」、「どのようにしても差別はなくなる」では、年代が低くなるほど回答割合が高くなっている。

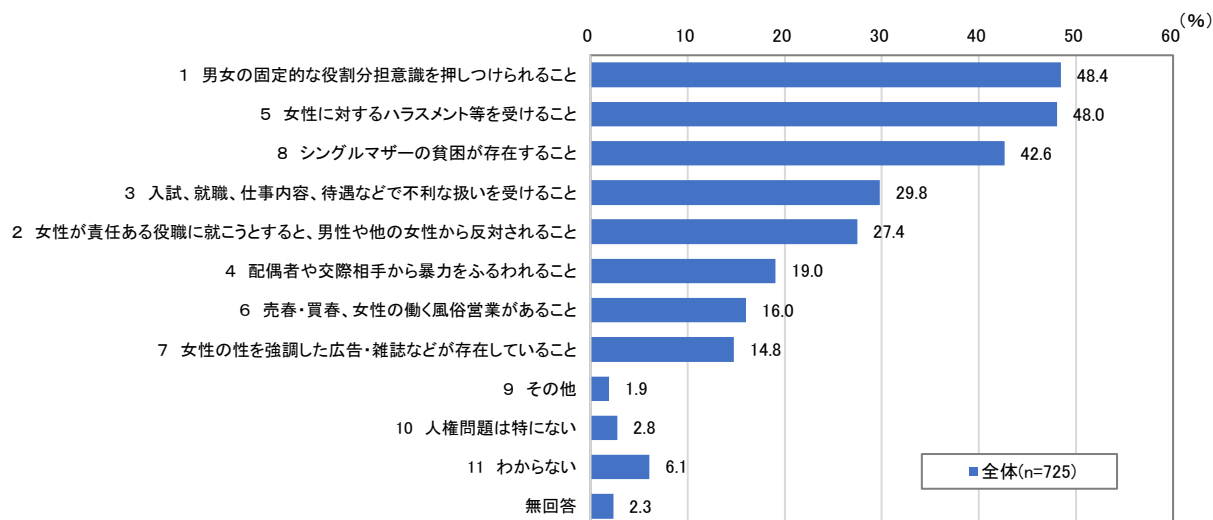


2 様々な人権課題について

質問5 あなたは、女性に関することから、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事・育児」など)を押しつけられること	351	48.4%
2 女性が責任ある役職に就こうとすると、男性や他の女性から反対されること	199	27.4%
3 入試、就職、仕事内容、待遇などで不利な扱いを受けること	216	29.8%
4 配偶者や交際相手から暴力をふるわれること	138	19.0%
5 女性に対するハラスメント(セクシュアル・ハラスメント※、マタニティ・ハラスメント※、モラル・ハラスメント※)等を受けること	348	48.0%
6 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む。)、女性の働く風俗営業があること	116	16.0%
7 女性の性を強調した広告・雑誌などが存在していること	107	14.8%
8 シングルマザーの貧困が存在すること	309	42.6%
9 その他	14	1.9%
10 人権問題は特にない	20	2.8%
11 わからない	44	6.1%
無回答	17	2.3%
対象	725	-

女性に関する人権上の問題は、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事・育児」など)を押しつけられること」(48.4%)と「女性に対するハラスメント(セクシュアル・ハラスメント※、マタニティ・ハラスメント※、モラル・ハラスメント※)等を受けること」(48.0%)が約5割と回答が多くなっている。次に、「シングルマザーの貧困が存在すること」(42.6%)、「入試、就職、仕事内容、待遇などで不利な扱いを受けること」(29.8%)と続いている。



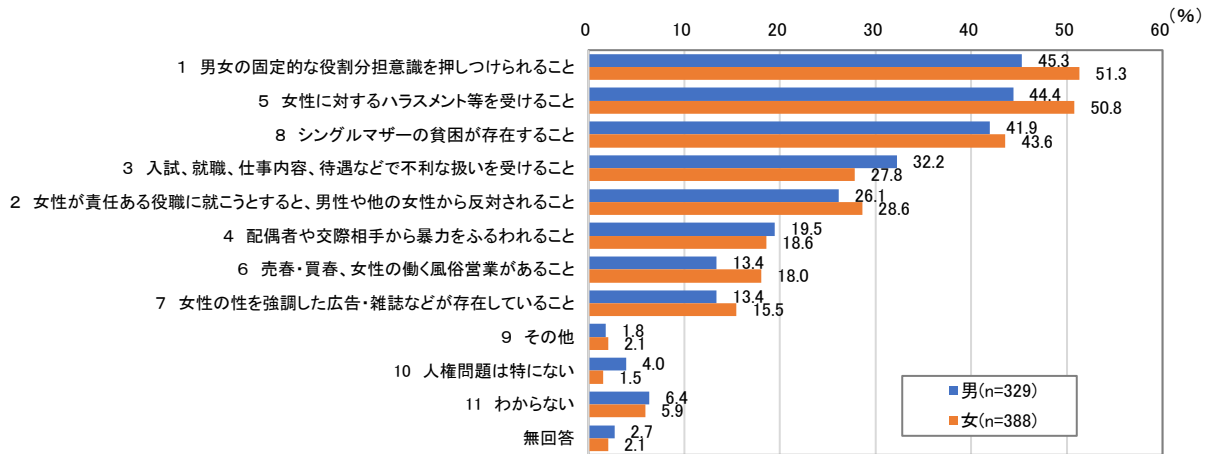
※セクシュアル・ハラスメント … 性的嫌がらせ

※マタニティ・ハラスメント … 妊娠・出産に伴う嫌がらせ

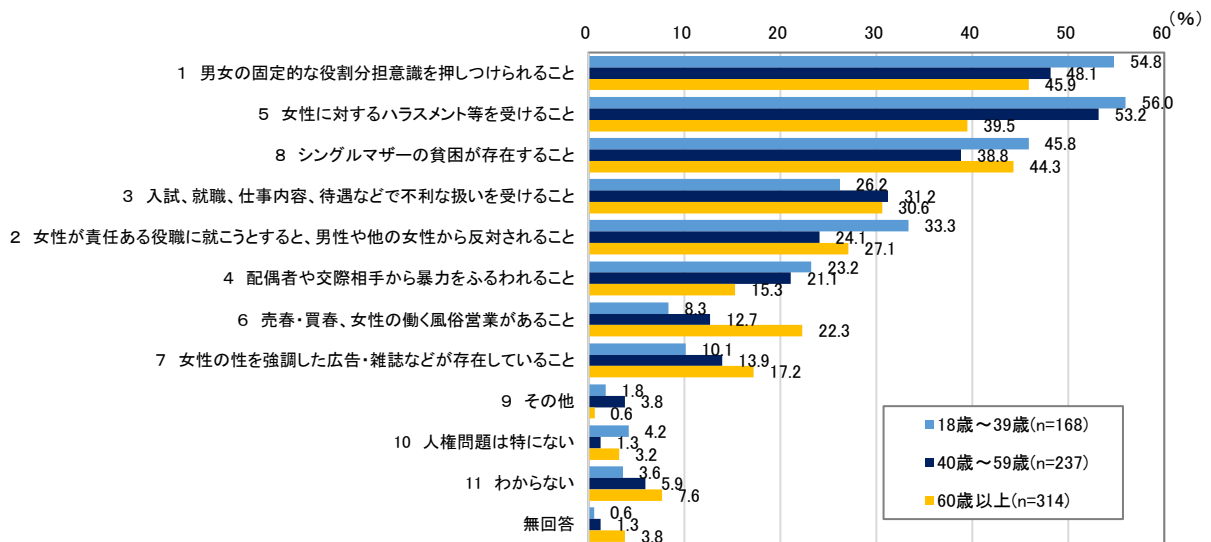
※モラル・ハラスメント … 言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ

その他を選択し、記入された主なもの … 婚姻後の別姓がみとめられないこと、子どもがいないこと など

性別でみると、男女とも回答傾向の差は少ないものの、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事・育児」など）を押しつけられること」、「女性に対するハラスメント（セクシュアル・ハラスメント※、マタニティ・ハラスメント※、モラル・ハラスメント※）等を受けること」では、「男性」よりも「女性」の回答割合がやや高くなっている。



年代別でみると、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」では、「女性に対するハラスメント（セクシュアル・ハラスメント※、マタニティ・ハラスメント※、モラル・ハラスメント※）等を受けること」が最も多い回答となり、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事・育児」など）を押しつけられること」は、2番目に多い回答となっている。一方、「60歳以上」では、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事・育児」など）を押しつけられること」が最も多く、2番目に、「シングルマザーの貧困が存在すること」となっている。

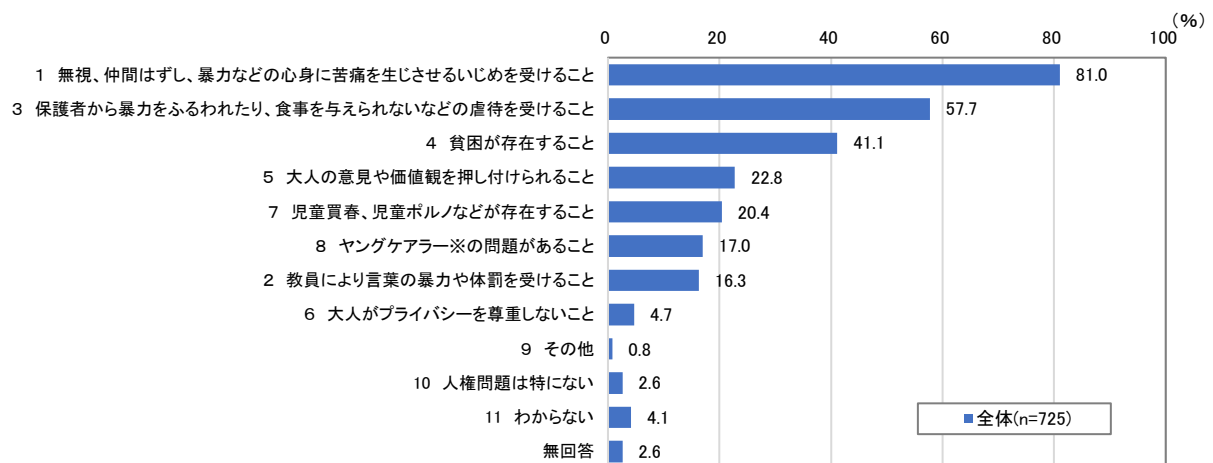


2 様々な人権課題について

質問6 あなたは、子どもに関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 無視、仲間はずし、暴力などの心身に苦痛を生じさせるいじめ(インターネットを通じて行われるものを含む。)を受けること	587	81.0%
2 教員により言葉の暴力や体罰を受けること	118	16.3%
3 保護者から暴力をふるわれたり、食事を与えられないなどの虐待を受けること	418	57.7%
4 貧困が存在すること	298	41.1%
5 大人の意見や価値観を押し付けられること	165	22.8%
6 大人がプライバシーを尊重しないこと	34	4.7%
7 児童買春、児童ポルノなどが存在すること	148	20.4%
8 ヤングケアラー※の問題があること	123	17.0%
9 その他	6	0.8%
10 人権問題は特にない	19	2.6%
11 わからない	30	4.1%
無回答	19	2.6%
対象	725	-

子どもに関する人権上の問題は、「無視、仲間はずし、暴力などの心身に苦痛を生じさせるいじめ(インターネットを通じて行われるものを含む。)を受けること」(81.0%)が約8割と最も多くなっている。次に、「保護者から暴力をふるわれたり、食事を与えられないなどの虐待を受けること」(57.7%)、「貧困が存在すること」(41.1%)と続いている。

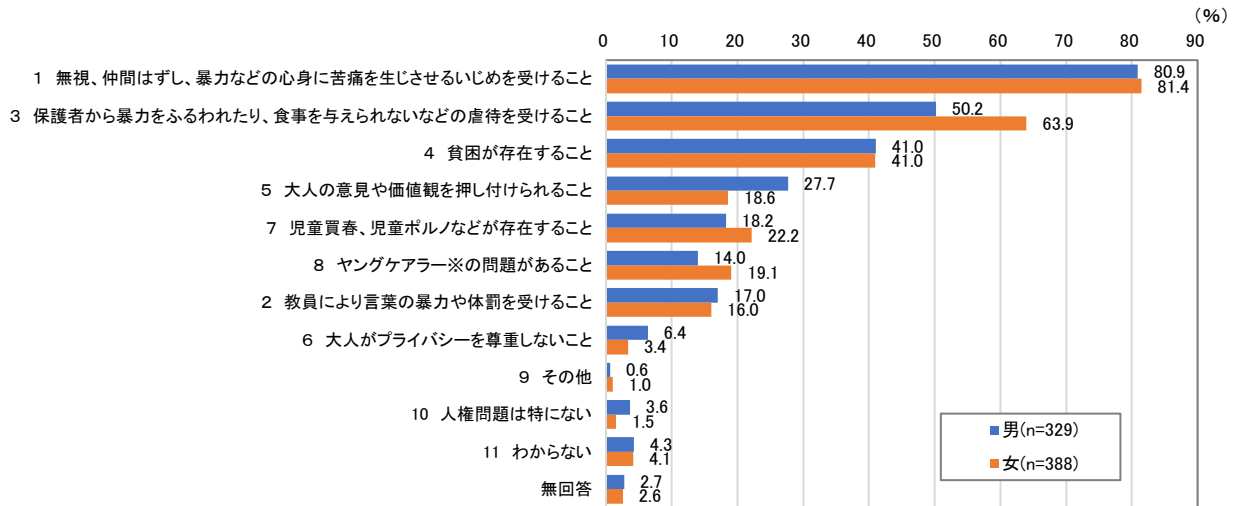


※ヤングケアラー … 家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話などを行っている18歳未満の子どもをいいます。

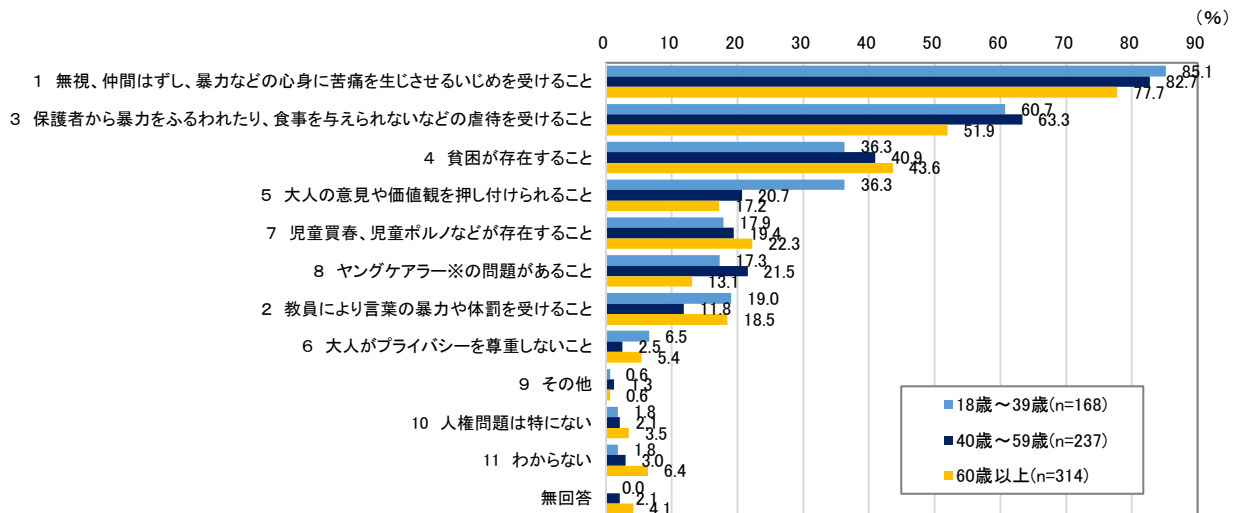
その他を選択し、記入された主なもの … 心の障害者への対応 など

2 様々な人権課題について

性別でみると、男女とも、「無視、仲間はずし、暴力などの心身に苦痛を生じさせるいじめ（インターネットを通じて行われるものを含む。）を受けること」が約8割と最も多くなっている。次に、「保護者から暴力をふるわれたり、食事を与えられないなどの虐待を受けること」となるものの、「男性」（50.2%）よりも「女性」（63.9%）の回答割合が高くなっている。



年代別でみると、いずれの年代も、「無視、仲間はずし、暴力などの心身に苦痛を生じさせるいじめ（インターネットを通じて行われるものを含む。）を受けること」が約8割と最も多くなっている。次に、「保護者から暴力をふるわれたり、食事を与えられないなどの虐待を受けること」では、「18歳～39歳」（60.7%）、「40歳～59歳」（63.3%）では約6割となるものの、「60歳以上」（51.9%）では約5割と、回答割合が低くなっている。

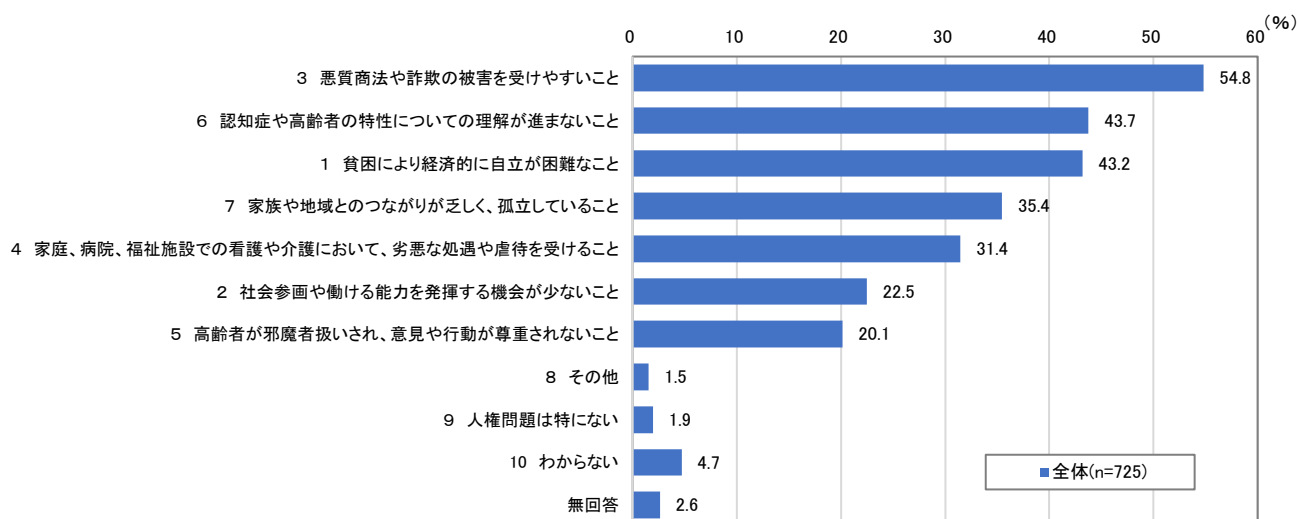


2 様々な人権課題について

質問7 あなたは、高齢者に関することがらで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

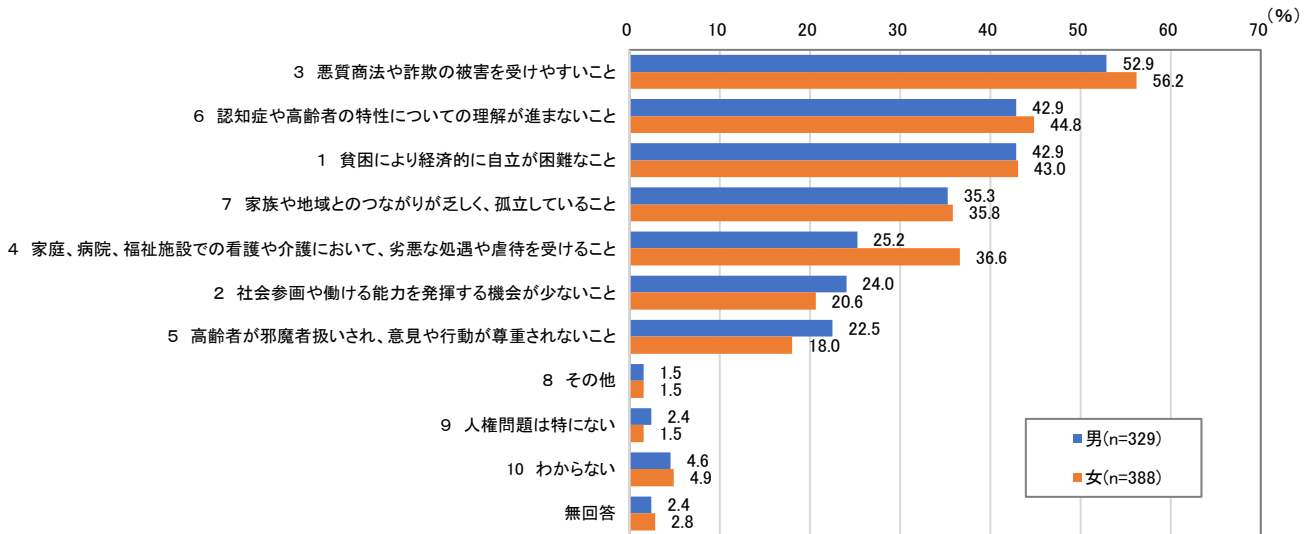
選択肢	回答数	割合
1 貧困により経済的に自立が困難なこと	313	43.2%
2 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと	163	22.5%
3 悪質商法や詐欺の被害を受けやすいこと	397	54.8%
4 家庭、病院、福祉施設での看護や介護において、劣悪な処遇や虐待を受けること	228	31.4%
5 高齢者が邪魔者扱いされ、意見や行動が尊重されないこと	146	20.1%
6 認知症や高齢者の特性についての理解が進まないこと	317	43.7%
7 家族や地域とのつながりが乏しく、孤立していること	257	35.4%
8 その他	11	1.5%
9 人権問題は特にない	14	1.9%
10 わからない	34	4.7%
無回答	19	2.6%
対象	725	-

高齢者に関する人権上の問題は、「悪質商法や詐欺の被害を受けやすいこと」(54.8%)が約5割と最も多くなっている。次に、「認知症や高齢者の特性についての理解が進まないこと」(43.7%)、「貧困により経済的に自立が困難なこと」(43.2%)と続いている。

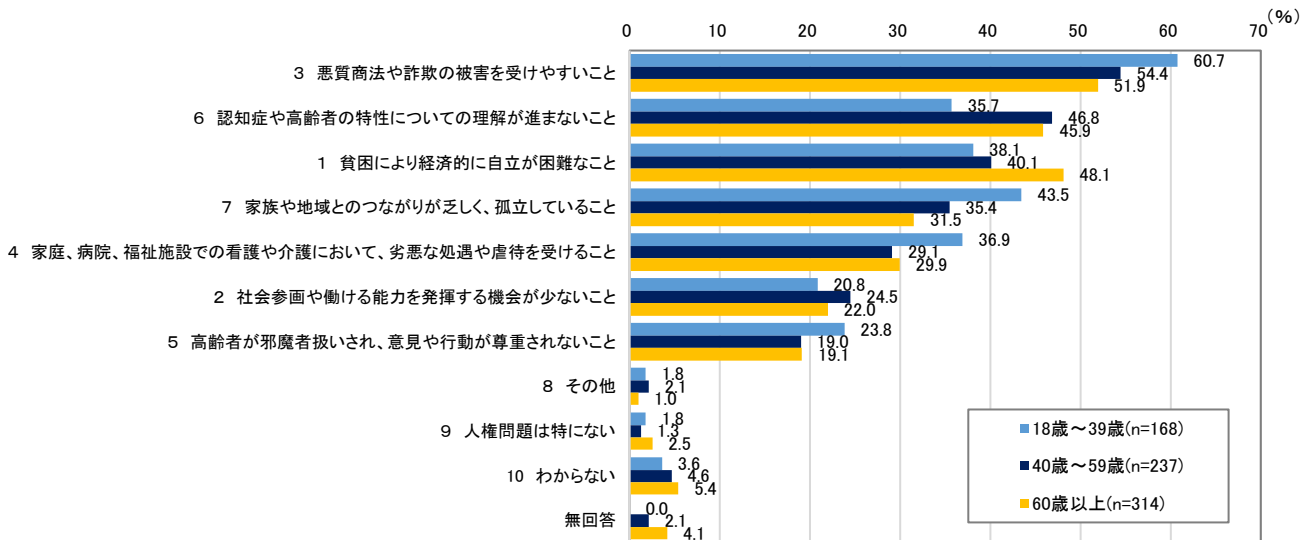


その他を選択し、記入された主なもの … 車を運転できないと移動が不自由になる など

性別でみると、上位4項目は、男女とも同じ傾向になっている。「家庭、病院、福祉施設での看護や介護において、劣悪な処遇や虐待を受けること」では、「男性」(25.2%)よりも「女性」(36.6%)の回答割合が高くなっている。



年代別でみると、いずれの年代も、「悪質商法や詐欺の被害を受けやすいこと」が最も多い回答となっている。次に、「18歳～39歳」では「家族や地域とのつながりが乏しく、孤立していること」(43.5%)、「貧困により経済的に自立が困難なこと」(38.1%)と続いている。「40歳～59歳」では、「認知症や高齢者の特性についての理解が進まないこと」(46.8%)、「貧困により経済的に自立が困難なこと」(40.1%)と、「60歳以上」では、「貧困により経済的に自立が困難なこと」(48.1%)、「認知症や高齢者の特性についての理解が進まないこと」(45.9%)と続いている。

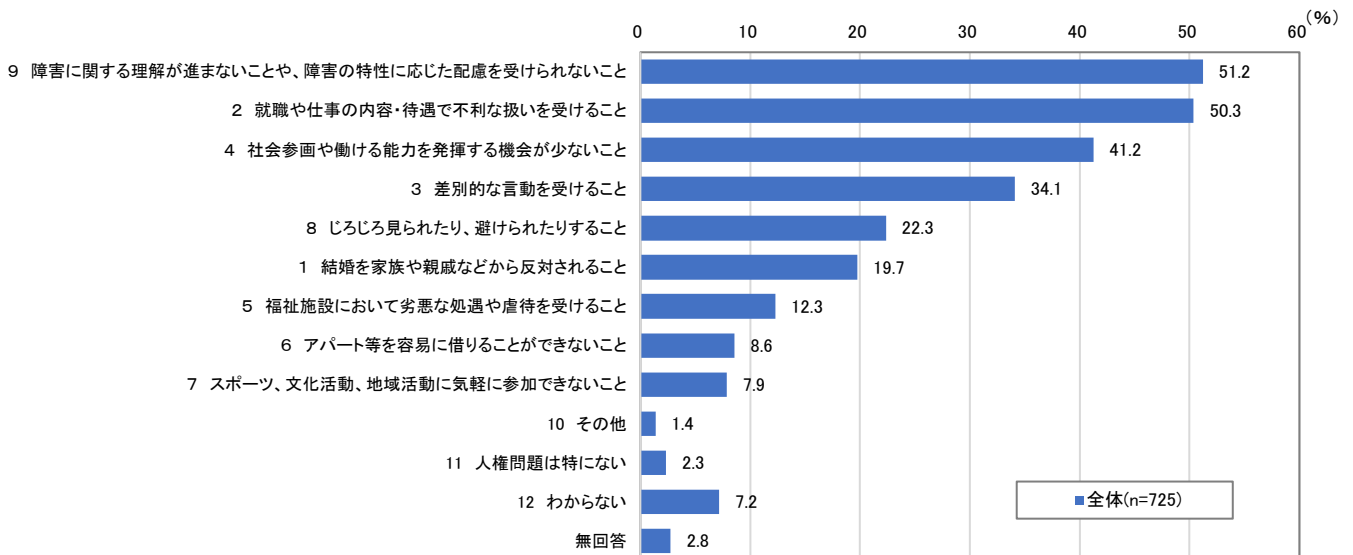


2 様々な人権課題について

質問8 あなたは、障害者に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

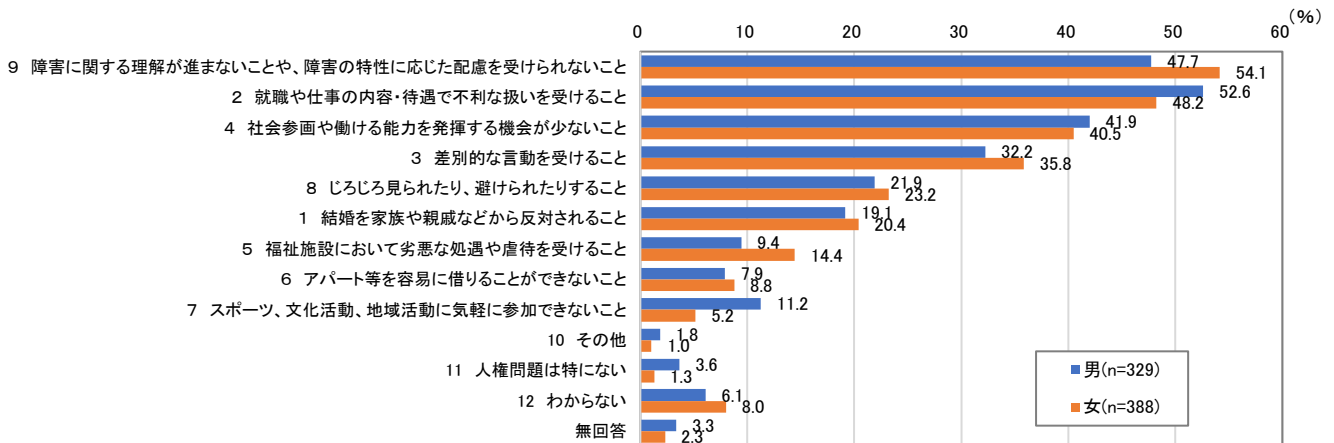
選択肢	回答数	割合
1 結婚を家族や親戚などから反対されること	143	19.7%
2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること	365	50.3%
3 差別的な言動を受けること	247	34.1%
4 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと	299	41.2%
5 福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	89	12.3%
6 アパート等を容易に借りることができないこと	62	8.6%
7 スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	57	7.9%
8 じろじろ見られたり、避けられたりすること	162	22.3%
9 障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと	371	51.2%
10 その他	10	1.4%
11 人権問題は特にない	17	2.3%
12 わからない	52	7.2%
無回答	20	2.8%
対象	725	-

障害者に関する人権上の問題は、「障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(51.2%)と「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(50.3%)が約5割とほぼ同率で最も多くなっている。次に、「社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(41.2%)、「差別的な言動を受けること」(34.1%)と続いている。

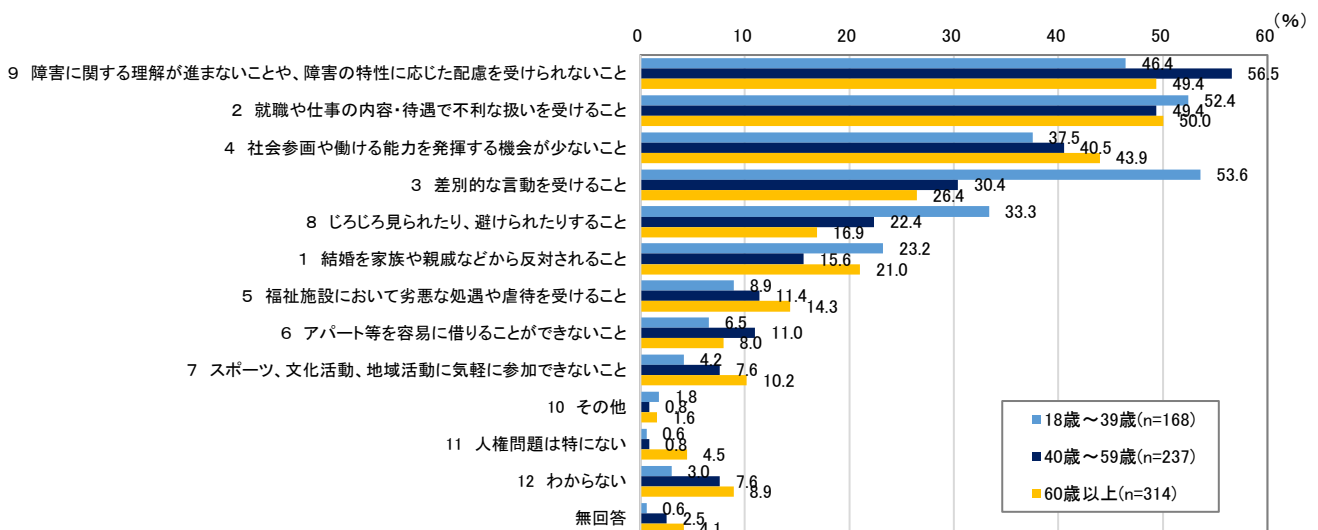


その他を選択し、記入された主なもの … 障害者に対する子どもの接し方、法的環境の未整備 など

性別でみると、「男性」では、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(52.6%)が最も多くなっている。次に、「障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(47.7%)、「社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(41.9%)と続いている。一方、「女性」では、「障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(54.1%)が最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(48.2%)、「社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(40.5%)と続いている。



年代別でみると、「18歳～39歳」では、「差別的な言動を受けること」(53.6%)が最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(52.4%)、「障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(46.4%)と続いている。一方、「40歳～59歳」では、「障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(56.5%)が最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(49.4%)、「社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(40.5%)と続いている。また、「60歳以上」では、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(50.0%)が最も多くなっている。次に、障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと」(49.4%)、「社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(43.9%)と続いている。

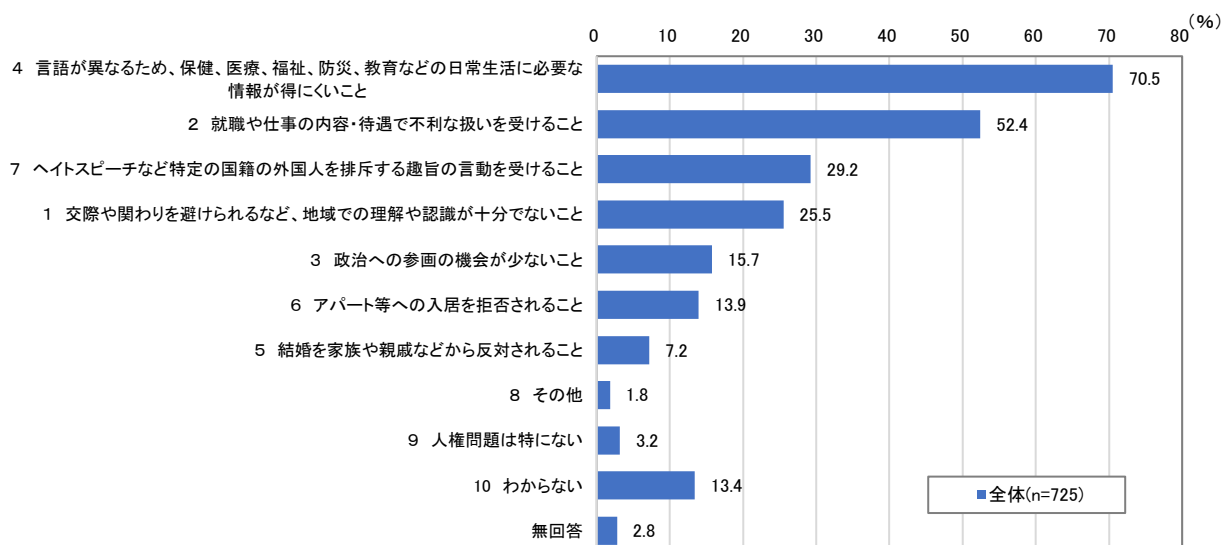


2 様々な人権課題について

質問9 あなたは、日本に居住している外国人に関することがらで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

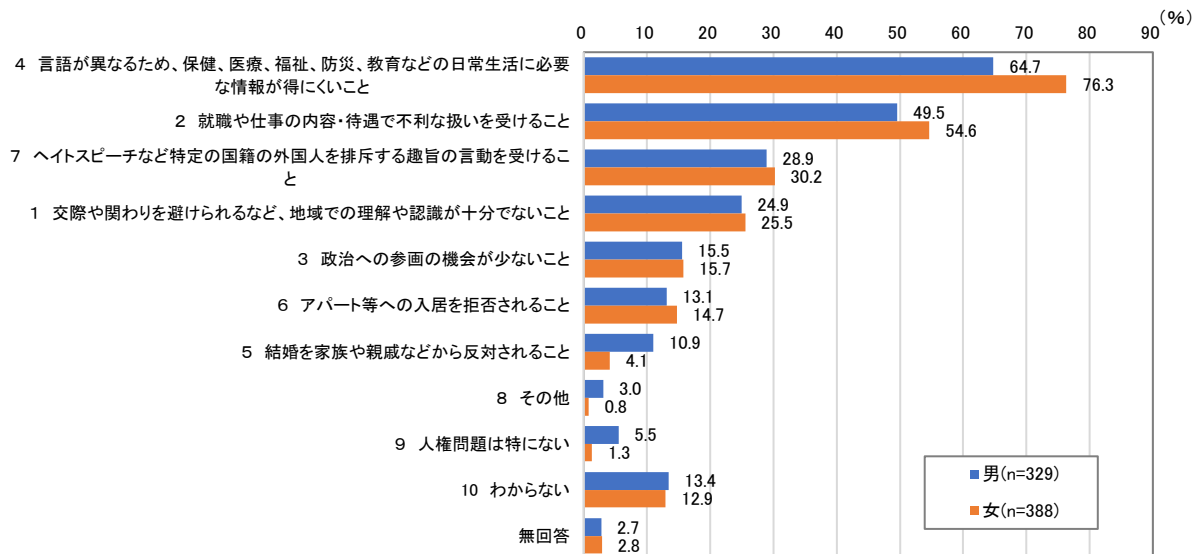
選択肢	回答数	割合
1 交際や関わりを避けられるなど、地域での理解や認識が十分でないこと	185	25.5%
2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること	380	52.4%
3 政治への参画の機会が少ないこと	114	15.7%
4 言語が異なるため、保健、医療、福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと	511	70.5%
5 結婚を家族や親戚などから反対されること	52	7.2%
6 アパート等への入居を拒否されること	101	13.9%
7 ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を受けること	212	29.2%
8 その他	13	1.8%
9 人権問題は特にない	23	3.2%
10 わからない	97	13.4%
無回答	20	2.8%
対象	725	-

日本に居住している外国人に関する人権上の問題は、「言語が異なるため、保健、医療、福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」(70.5%)が約7割と最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(52.4%)、「ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を受けること」(29.2%)と続いている。

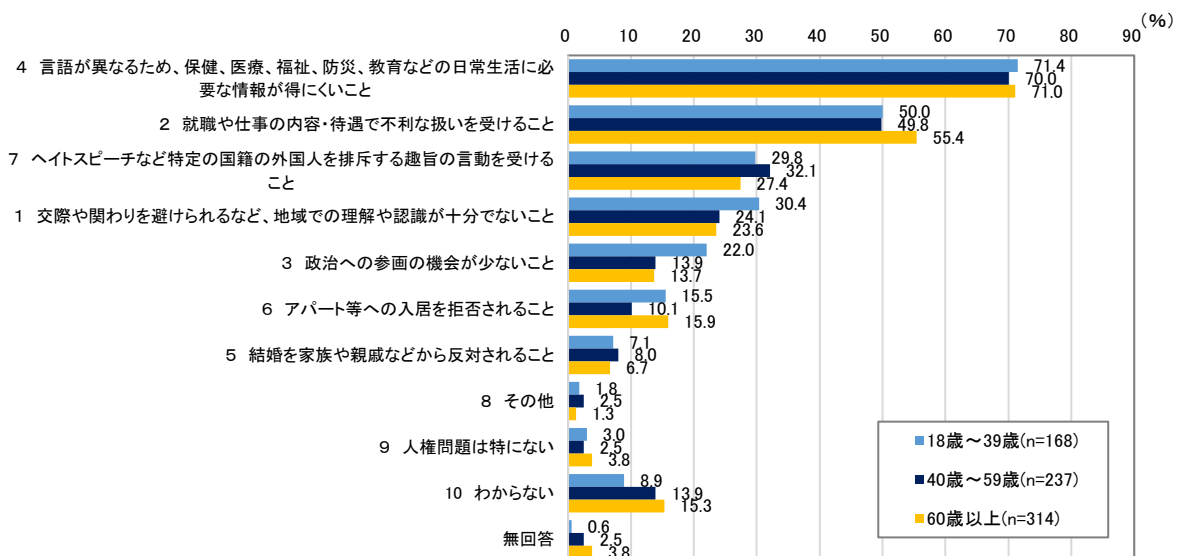


その他を選択し、記入された主なもの … 技能実習制度による問題、新型コロナウイルス感染症を疑われること など

性別でみると、「言語が異なるため、保健、医療、福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」で、「男性」よりも「女性」の回答割合が高くなっている。



年代別でみると、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」で、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」よりも「60歳以上」の回答割合がやや高くなっている。

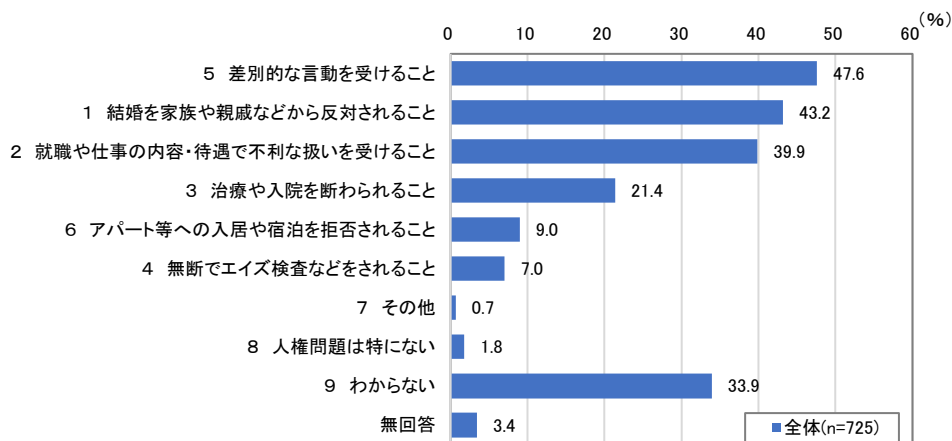


2 様々な人権課題について

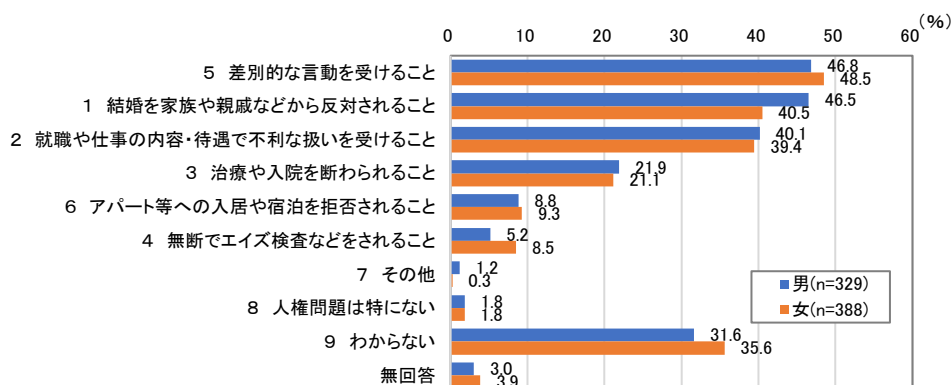
質問 10 あなたは、H I V感染者（エイズ感染者等を含む）やその家族に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 結婚を家族や親戚などから反対されること	313	43.2%
2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること	289	39.9%
3 治療や入院を断られること	155	21.4%
4 無断でエイズ検査などをされること	51	7.0%
5 差別的な言動を受けること	345	47.6%
6 アパート等への入居や宿泊を拒否されること	65	9.0%
7 その他	5	0.7%
8 人権問題は特にない	13	1.8%
9 わからない	246	33.9%
無回答	25	3.4%
対象	725	-

H I V感染者やその家族に関する人権上の問題は、「差別的な言動を受けること」(47.6%)が約5割と最も多くなっている。次に、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(43.2%)、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(39.9%)と続いている。

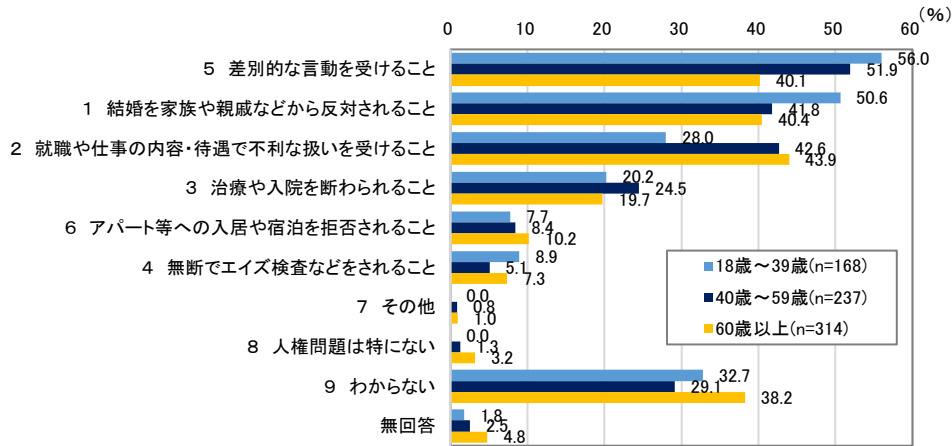


性別でみると、男女の差は少ないものの、「結婚を家族や親戚などから反対されること」では、「男性」(46.5%)が「女性」(40.5%)よりも回答割合がやや高くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … 病気に対する無理解 など

年代別でみると、「18歳～39歳」では、「差別的な言動を受けること」(56.0%)と「結婚を家族や親戚などから反対されること」(50.6%)が5割を超えている。「40歳～59歳」では、「差別的な言動を受けること」(51.9%)が最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(42.6%)、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(41.8%)と続いている。「60歳以上」では、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(43.9%)、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(40.4%)、「差別的な言動を受けること」(40.1%)、「わからない」(38.2%)が約4割でほぼ同じ割合となっている。

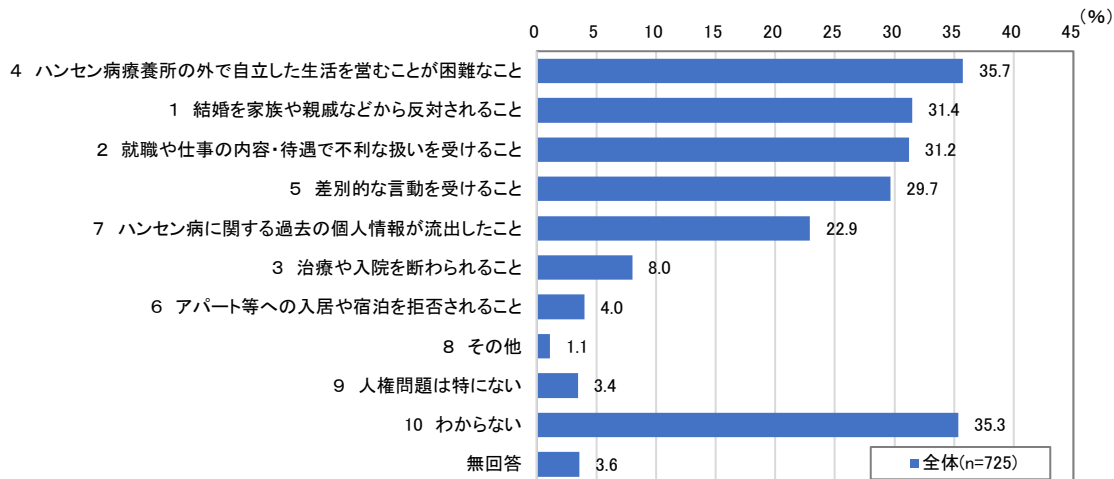


2 様々な人権課題について

質問 11 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関することから、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

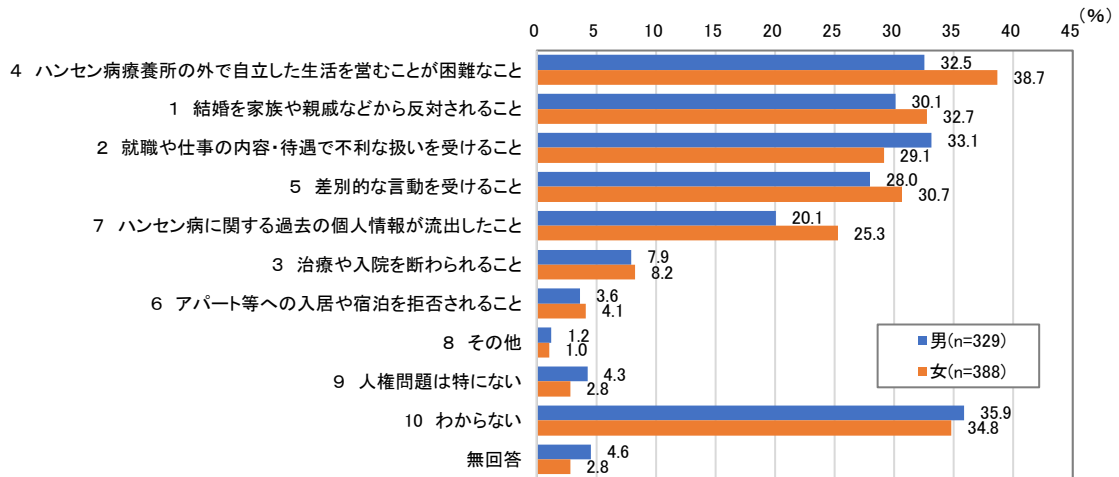
選択肢	回答数	割合
1 結婚を家族や親戚などから反対されること	228	31.4%
2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること	226	31.2%
3 治療や入院を断られること	58	8.0%
4 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと	259	35.7%
5 差別的な言動を受けること	215	29.7%
6 アパート等への入居や宿泊を拒否されること	29	4.0%
7 ハンセン病に関する過去の個人情報が出たこと	166	22.9%
8 その他	8	1.1%
9 人権問題は特にない	25	3.4%
10 わからない	256	35.3%
無回答	26	3.6%
対象	725	-

ハンセン病患者・元患者やその家族に関する人権上の問題は、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(35.7%)と「わからない」(35.3%)がほぼ同率で最も多くなっている。次に、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(31.4%)、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(31.2%)、「差別的な言動を受けること」(29.7%)と続いている。

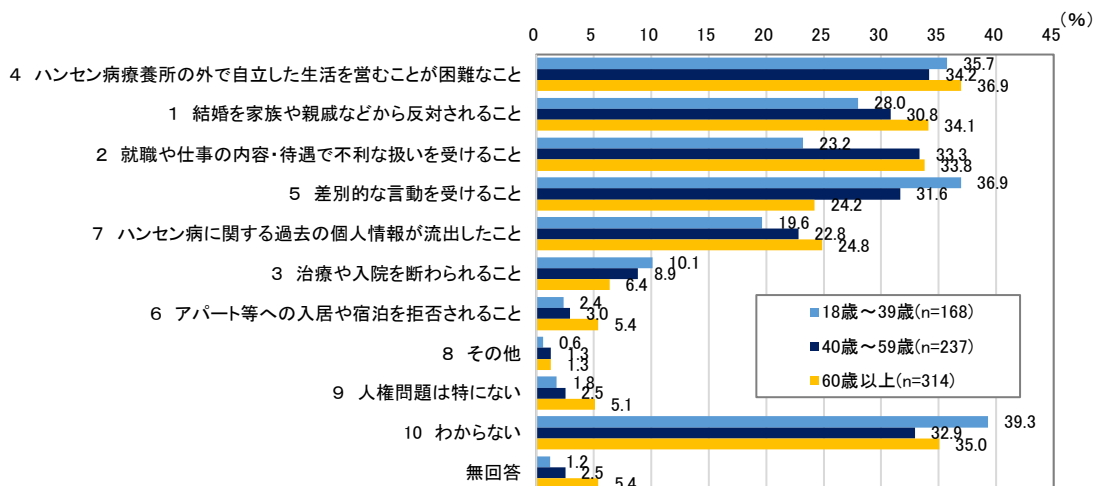


その他を選択し、記入された主なもの … ハンセン病に関する無理解、正しい知識が無い など

性別で見ると、「男性」では、「わからない」(35.9%)が約4割と最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(33.1%)、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(32.5%)、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(30.1%)と続いている。一方、「女性」では、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(38.7%)が約4割と最も多くなっている。次に、「わからない」(34.8%)、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(32.7%)、「差別的な言動を受けること」(30.7%)と続いている。



年代別で見ると、「18歳～39歳」では、「わからない」(39.3%)が約4割と最も多くなっている。次に、「差別的な言動を受けること」(36.9%)、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(35.7%)と続いている。「40歳～59歳」では、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(34.2%)が約3割と最も多くなっている。次に、「就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること」(33.3%)、「わからない」(32.9%)と続いている。「60歳以上」では、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」(36.9%)が約4割と最も多くなっている。次に、「わからない」(35.0%)、「結婚を家族や親戚などから反対されること」(34.1%)と続いている。

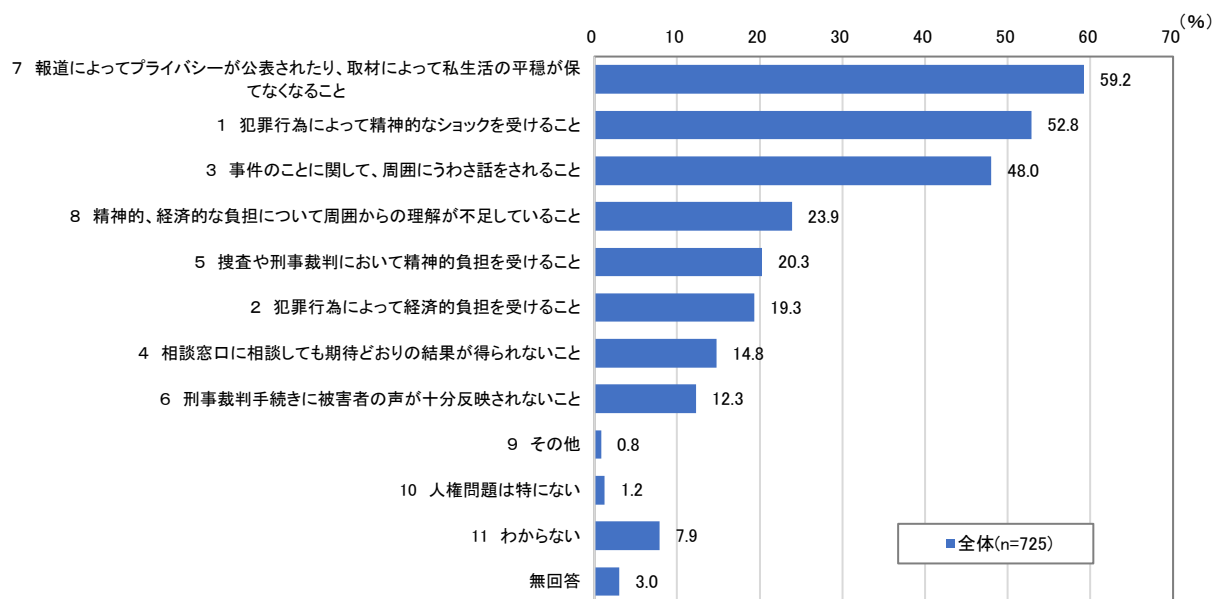


2 様々な人権課題について

質問 12 あなたは、犯罪被害者やその家族に関することから、現在、どのような人権上の問題が起きていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

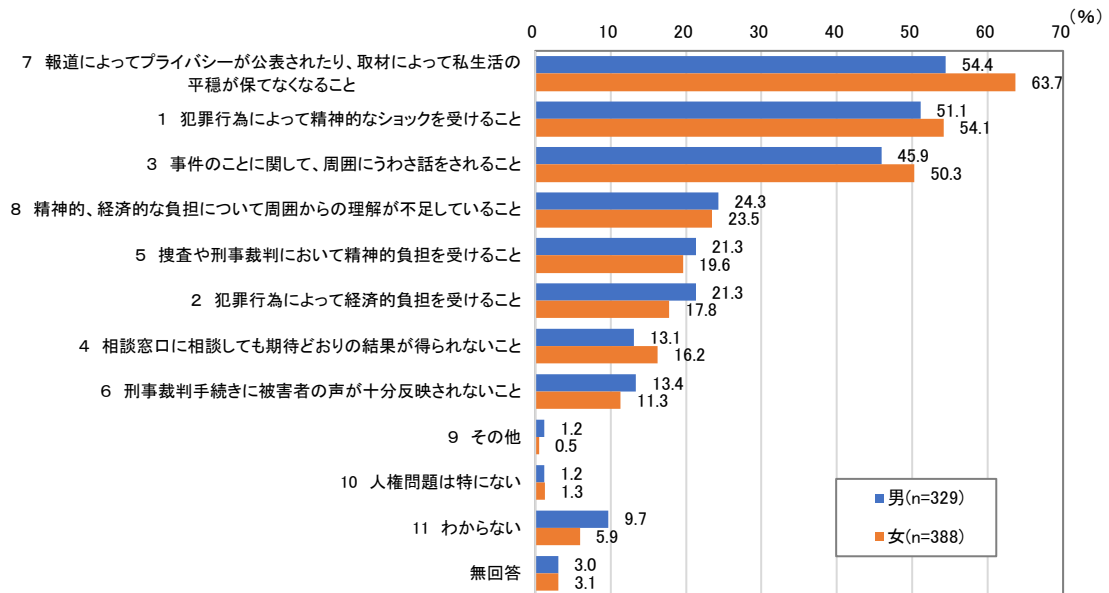
選択肢	回答数	割合
1 犯罪行為によって精神的なショックを受けること	383	52.8%
2 犯罪行為によって経済的負担を受けること	140	19.3%
3 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	348	48.0%
4 相談窓口で相談しても期待どおりの結果が得られないこと	107	14.8%
5 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	147	20.3%
6 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されないこと	89	12.3%
7 報道によってプライバシーが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる	429	59.2%
8 精神的、経済的な負担について周囲からの理解が不足していること	173	23.9%
9 その他	6	0.8%
10 人権問題は特でない	9	1.2%
11 わからない	57	7.9%
無回答	22	3.0%
対象	725	-

犯罪被害者やその家族に関する人権上の問題は、「報道によってプライバシーが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(59.2%)が約6割と最も多くなっている。次に、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(52.8%)、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」(48.0%)と続いている。

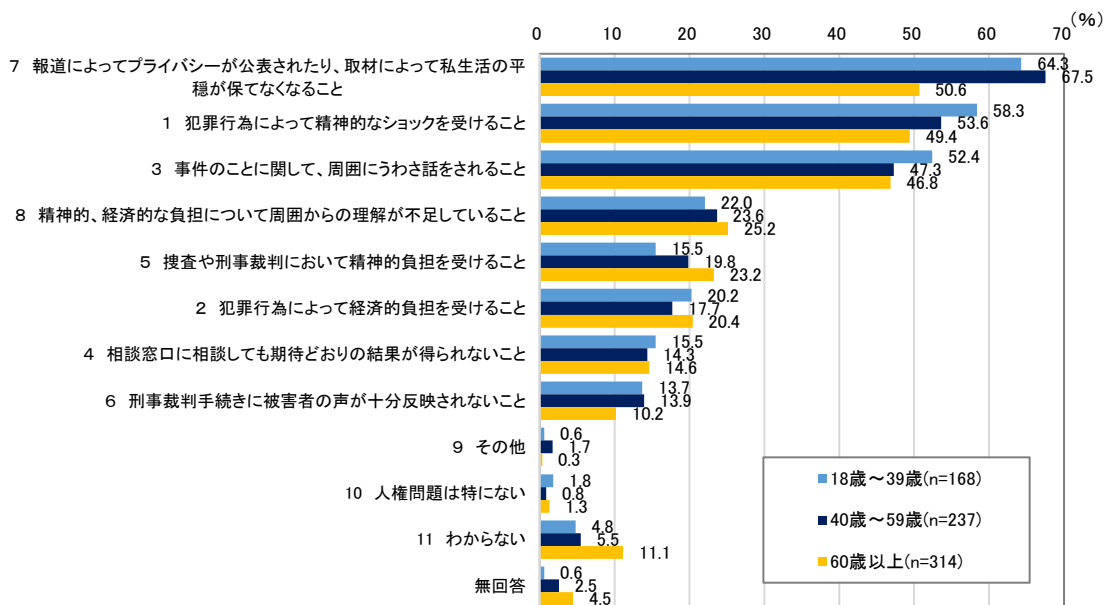


その他を選択し、記入された主なもの … 社会的復権が困難なこと など

性別でみると、上位3項目では、「男性」よりも「女性」の回答割合がやや高くなっている。特に、「報道によってプライバシーが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」では、「女性」が「男性」よりも9.3ポイント高くなっている。



年代別でみると、上位3項目では、「報道によってプライバシーが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」で、「18歳～39歳」と「40歳～59歳」が、「60歳以上」よりも回答割合が10ポイント以上高くなっている。一方、「60歳以上」では、3項目が約5割でほぼ拮抗している。

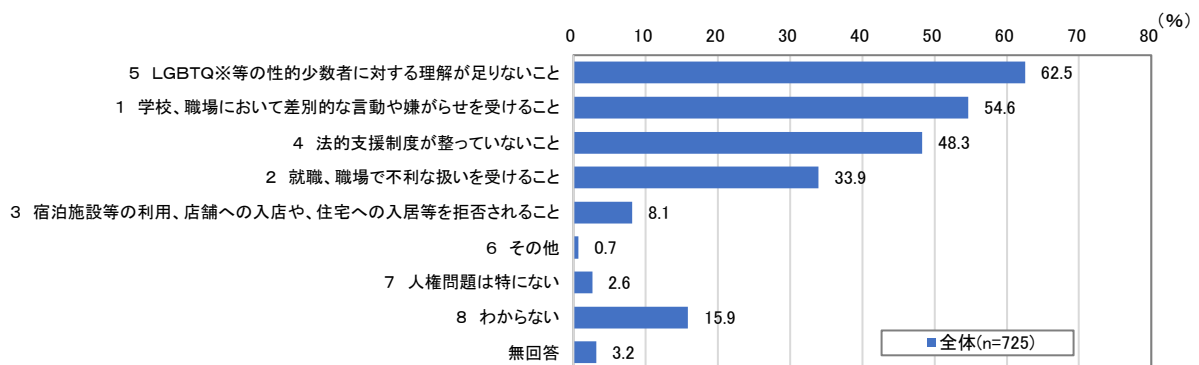


2 様々な人権課題について

質問 13 あなたは、LGBTQ※等の性的少数者に関することがらで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 学校、職場において差別的な言動や嫌がらせを受けること	396	54.6%
2 就職、職場で不利な扱いを受けること	246	33.9%
3 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否されること	59	8.1%
4 法的支援制度が整っていないこと	350	48.3%
5 LGBTQ※等の性的少数者に対する理解が足りないこと	453	62.5%
6 その他	5	0.7%
7 人権問題は特にない	19	2.6%
8 わからない	115	15.9%
無回答	23	3.2%
対象	725	-

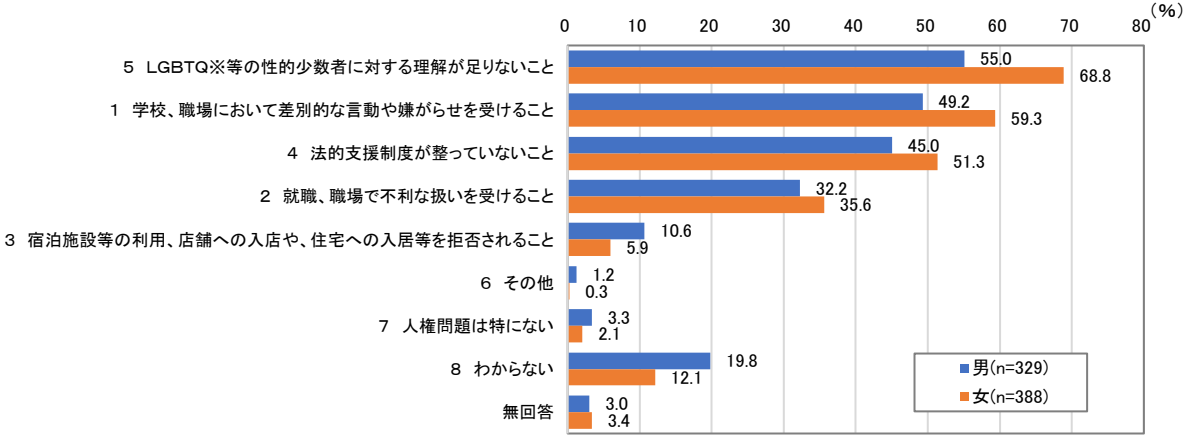
LGBTQ※等の性的少数者に関する人権上の問題は、「LGBTQ※等の性的少数者に対する理解が足りないこと」(62.5%)が約6割と最も多くなっている。次に、「学校、職場において差別的な言動や嫌がらせを受けること」(54.6%)、「法的支援制度が整っていないこと」(48.3%)と続いている。



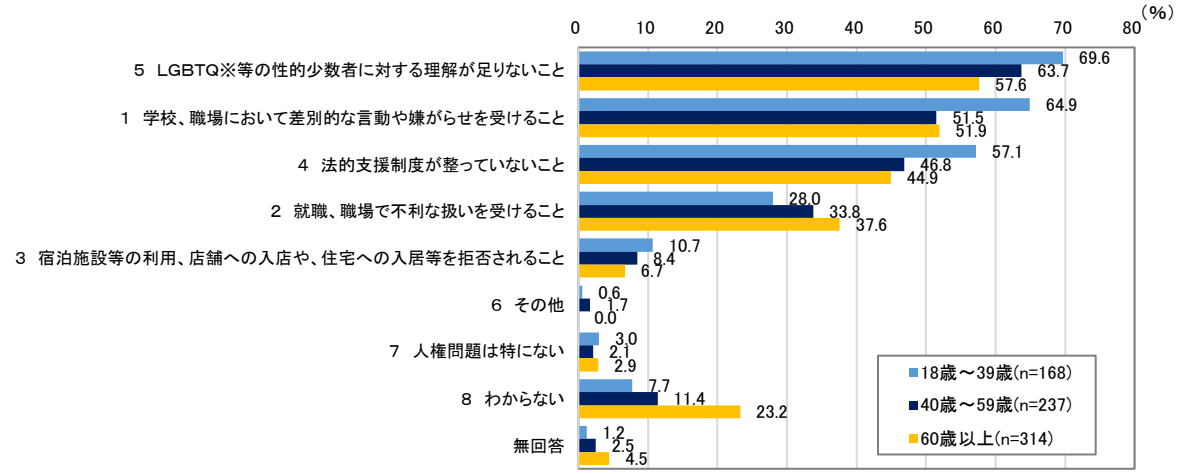
※LGBTQ … 女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシュアル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

その他を選択し、記入された主なもの … 社会インフラが対応できていない など

性別で見ると、上位3項目では、「男性」よりも「女性」の回答割合が高くなっている。特に、「LGBTQ※等の性的少数者に対する理解が足りないこと」では、「女性」が13.8ポイント高くなっている。



年代別で見ると、上位3項目では、「18歳～39歳」が、「40歳～59歳」、「60歳以上」よりも高い回答割合となっている。特に、「学校、職場において差別的な言動や嫌がらせを受けること」、「法的支援制度が整っていないこと」では、「18歳～39歳」が10ポイント以上高くなっている。一方、「就職、職場で不利な扱いを受けること」、「わからない」では、年代が高くなるほど回答割合が高くなっている。

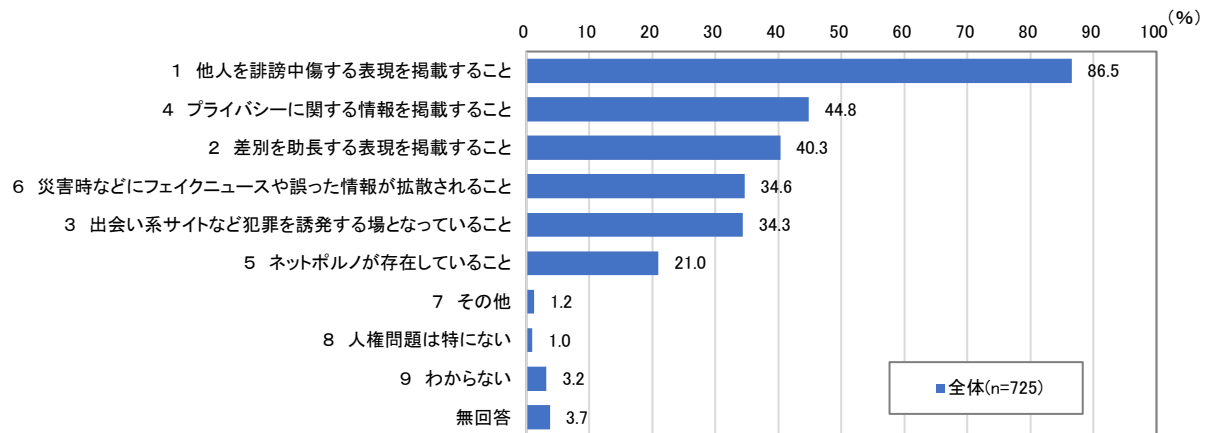


2 様々な人権課題について

質問 14 あなたは、SNSをはじめとしたインターネットによる人権侵害に関することがらで、現在、どのような人権上の問題が起きていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

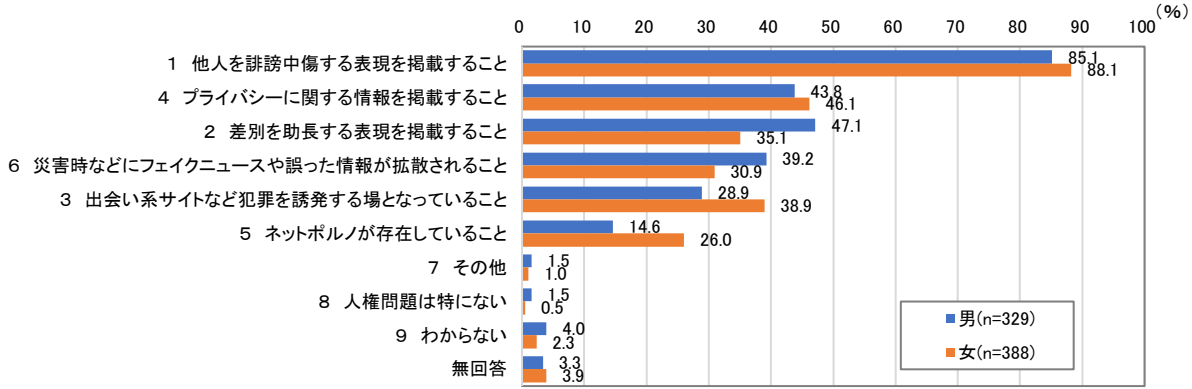
選択肢	回答数	割合
1 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること	627	86.5%
2 差別を助長する表現を掲載すること	292	40.3%
3 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	249	34.3%
4 プライバシーに関する情報を掲載すること	325	44.8%
5 ネットポルノが存在していること(リベンジポルノ(元交際相手等の性的な画像等を相手の同意を得ることなくインターネットの掲示板に公表する行為)を含む)	152	21.0%
6 災害時などにフェイクニュース(真実ではない情報)や誤った情報が拡散されること	251	34.6%
7 その他	9	1.2%
8 人権問題は特にない	7	1.0%
9 わからない	23	3.2%
無回答	27	3.7%
対象	725	-

SNSをはじめとしたインターネットにおける人権上の問題は、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」(86.5%)が約9割と最も多くなっている。次に、「プライバシーに関する情報を掲載すること」(44.8%)、「差別を助長する表現を掲載すること」(40.3%)と続いている。

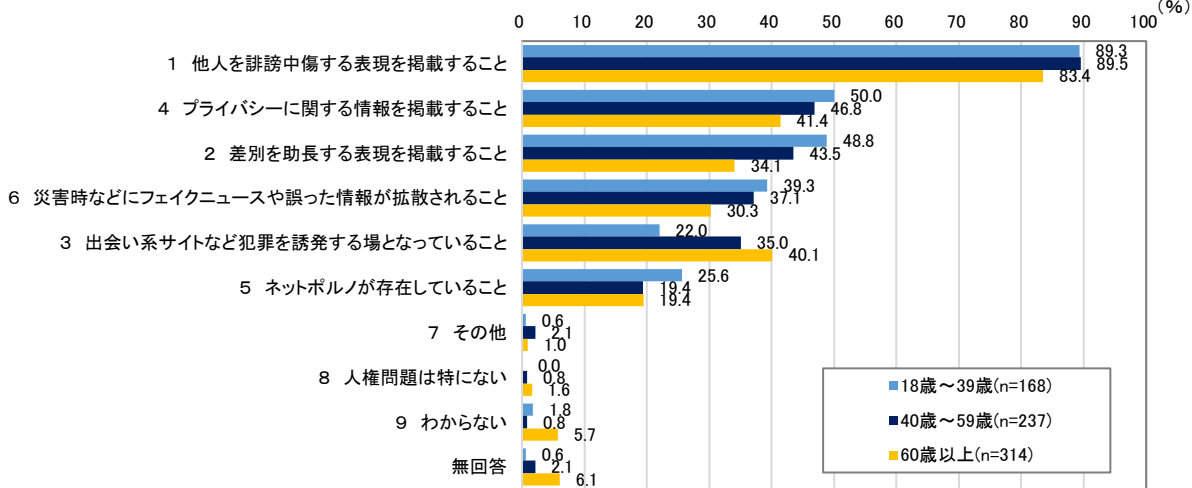


その他を選択し、記入された主なもの … 偽情報の拡散、発信者の責任が追求されにくいこと など

性別でみると、男女とも、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」が約9割と最も多くなっている。次に、「男性」では、「差別を助長する表現を掲載すること」(47.1%)、「プライバシーに関する情報を掲載すること」(43.8%)と続いている。一方、「女性」では、「プライバシーに関する情報を掲載すること」(46.1%)、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(38.9%)と続いている。



年代別でみると、いずれの年代も、上位2項目は、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」、「プライバシーに関する情報を掲載すること」となっている。次に、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」では、「差別を助長する表現を掲載すること」となっている。一方、「60歳以上」では、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」となっている。また、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」では、「18歳～39歳」が他の年代よりも回答割合が10ポイント以上低くなっている。



3 人権侵害の経験について

質問 15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

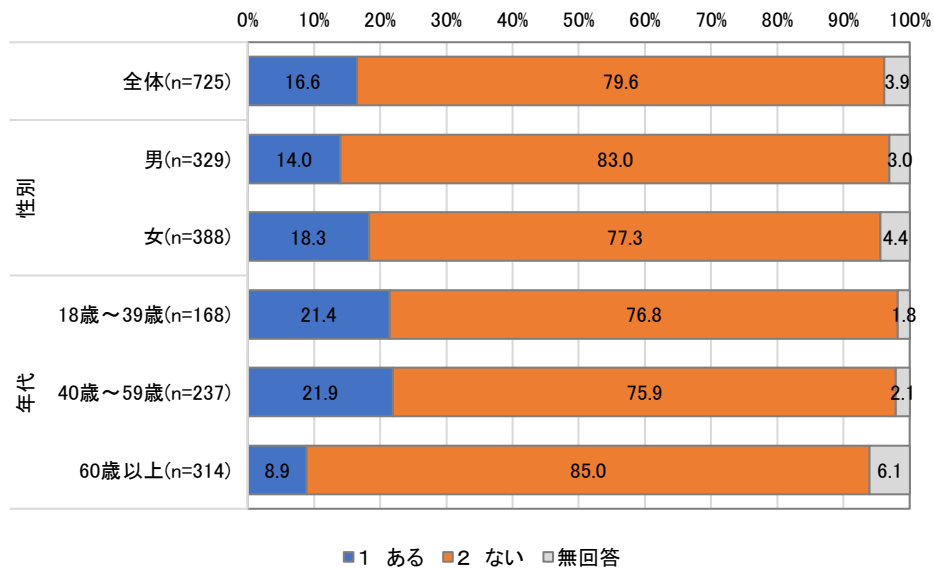
(1) あなたは、最近5年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 ある	120	16.6%
2 ない →質問 16 へ	577	79.6%
無回答	28	3.9%
合計	725	100.0%

人権侵害にあった経験については、「ない」(79.6%) が約8割と最も多くなっている。一方、「ある」(16.6%) は約2割となっている。

性別で見ると、男女とも、「ない」は約8割と最も多くなっている。一方、「ある」では、「男性」(14.0%) よりも、「女性」(18.3%) の回答割合がやや高くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代も、「ない」が7割を超え、最も多くなっている。一方、「ある」では、「60歳以上」(8.9%) よりも、「18歳～39歳」(21.4%)、「40歳～59歳」(21.9%) の回答割合が10ポイント以上高くなっている。

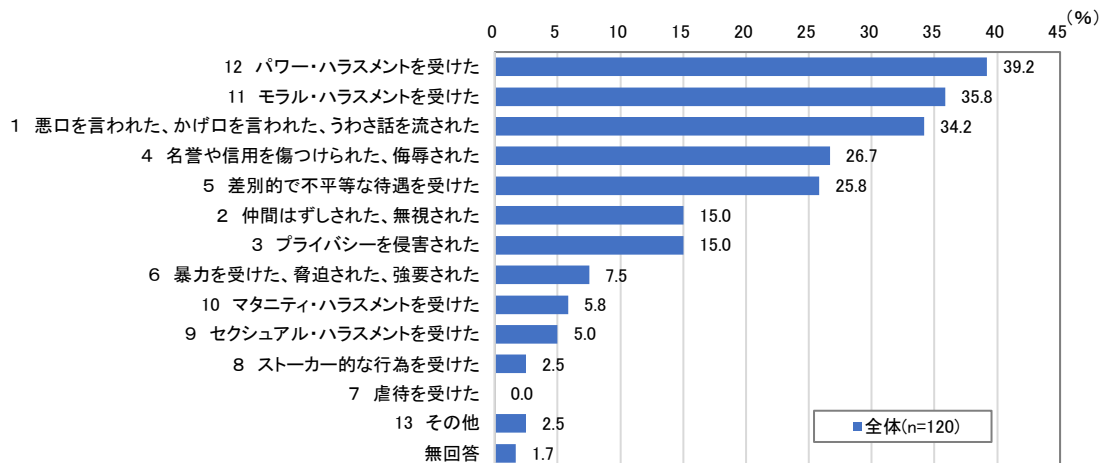


質問 15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

(2) (1) で「1 ある」と答えた方にお聞きします。その人権侵害はどのようなものでしたか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に入力してください。

選択肢	回答数	割合
1 悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された	41	34.2%
2 仲間はずしされた、無視された	18	15.0%
3 プライバシーを侵害された	18	15.0%
4 名誉や信用を傷つけられた、侮辱された	32	26.7%
5 差別的で不平等な待遇を受けた	31	25.8%
6 暴力を受けた、脅迫された、強要された	9	7.5%
7 虐待を受けた	0	0.0%
8 ストーカー的な行為を受けた	3	2.5%
9 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)を受けた	6	5.0%
10 マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産に伴う嫌がらせ)を受けた	7	5.8%
11 モラル・ハラスメント(言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ)を受けた	43	35.8%
12 パワー・ハラスメント(職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ)を受けた	47	39.2%
13 その他	3	2.5%
無回答	2	1.7%
対象	120	-

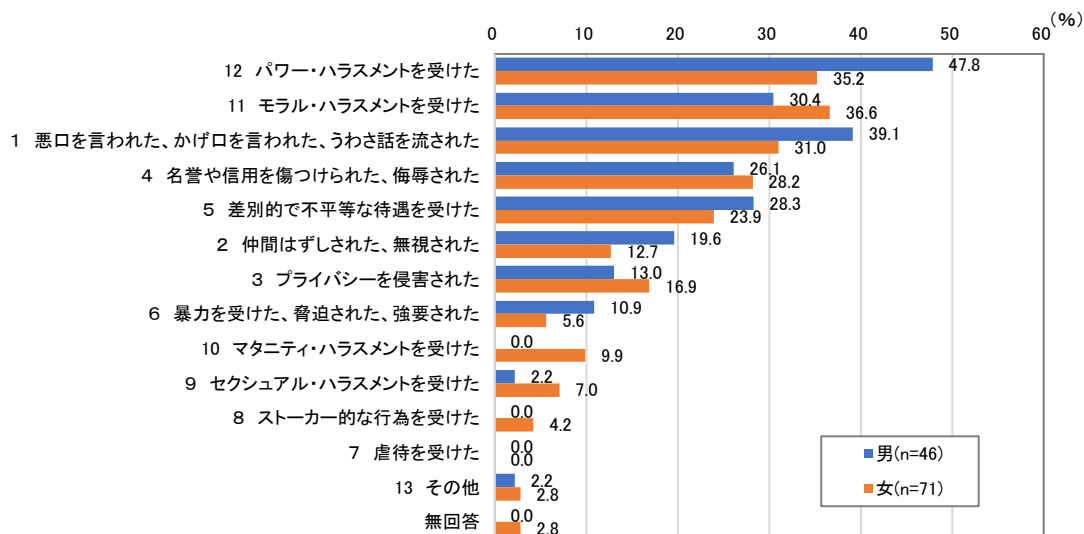
経験した人権侵害は、「パワー・ハラスメント（職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ）を受けた」（39.2%）が約4割と最も多くなっている。次に、「モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）を受けた」（35.8%）、「悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された」（34.2%）と続いている。



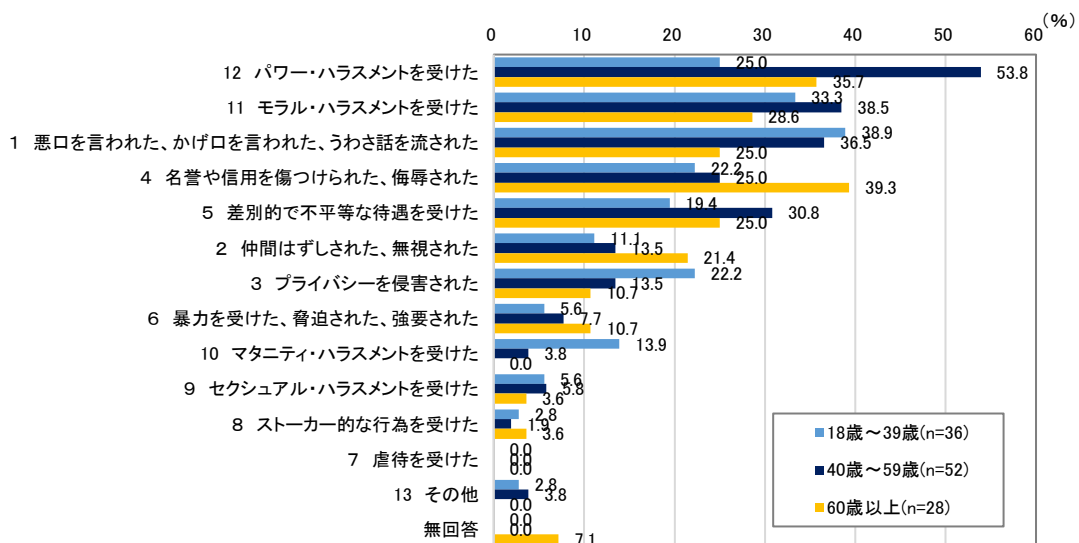
その他を選択し、記入された主なもの … 無言電話、子どもを産むように促されること など

3 人権侵害の経験について

性別でみると、「男性」では、「パワー・ハラスメント（職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ）を受けた」（47.8%）が約5割と最も多くなっている。次に、「悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された」（39.1%）、「モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）を受けた」（30.4%）と続いている。一方、「女性」では、モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）を受けた」（36.6%）が約4割と最も多くなっている。次に、「パワー・ハラスメント（職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ）を受けた」（35.2%）、「悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された」（31.0%）と続いている。



年代別でみると、「18歳～39歳」では、「悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された」（38.9%）が約4割と最も多くなっている。一方、「40歳～59歳」では、「パワー・ハラスメント（職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ）を受けた」（53.8%）が、「60歳以上」では、「名誉や信用を傷つけられた、侮辱された」（39.3%）が最も多くなっている。



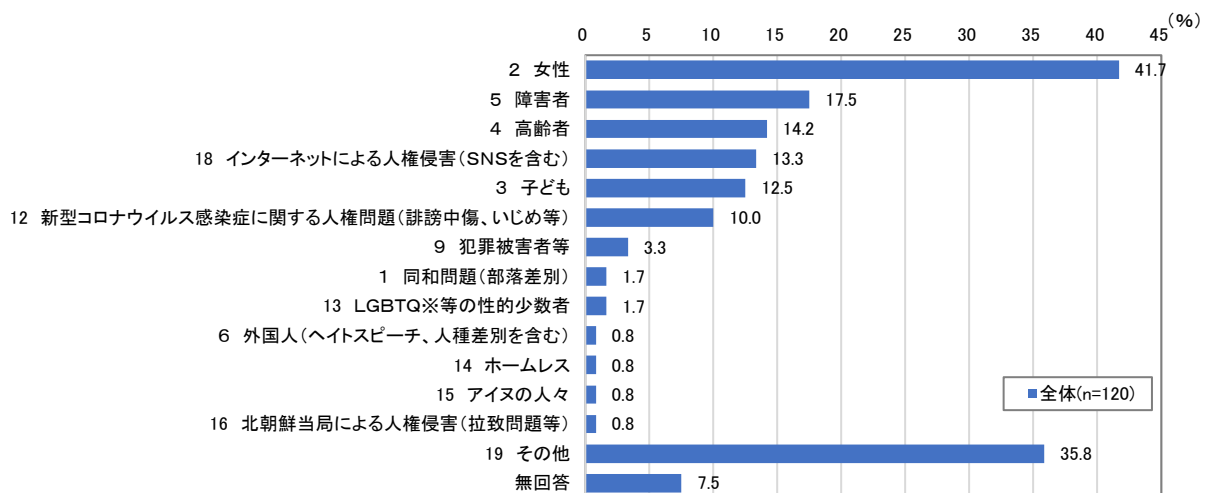
質問 15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

(3) その人権侵害はどのような人権問題に関わることだと思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 同和問題(部落差別)	2	1.7%
2 女性	50	41.7%
3 子ども	15	12.5%
4 高齢者	17	14.2%
5 障害者	21	17.5%
6 外国人(ヘイトスピーチ、人種差別を含む)	1	0.8%
7 HIV感染者(エイズ感染者等を含む)	0	0.0%
8 ハンセン病患者、元患者	0	0.0%
9 犯罪被害者等	4	3.3%
10 刑を終えて出所した人等	0	0.0%
11 中国帰国者等	0	0.0%
12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷、いじめ等)	12	10.0%
13 LGBTQ※等の性的少数者	2	1.7%
14 ホームレス	1	0.8%
15 アイヌの人々	1	0.8%
16 北朝鮮当局による人権侵害(拉致問題等)	1	0.8%
17 東日本大震災に伴う人権問題	0	0.0%
18 インターネットによる人権侵害(SNSを含む)	16	13.3%
19 その他	43	35.8%
無回答	9	7.5%
対象	120	-

経験した人権侵害に関わる人権問題は、「女性」(41.7%) が約4割と最も多くなっている。次に、「その他」(35.8%)、「障害者」(17.5%)、「高齢者」(14.2%)と続いている。

HIV感染者、ハンセン病患者、元患者、刑を終えて出所した人、中国帰国者、東日本大震災に伴う人権問題は回答者がいなかった。

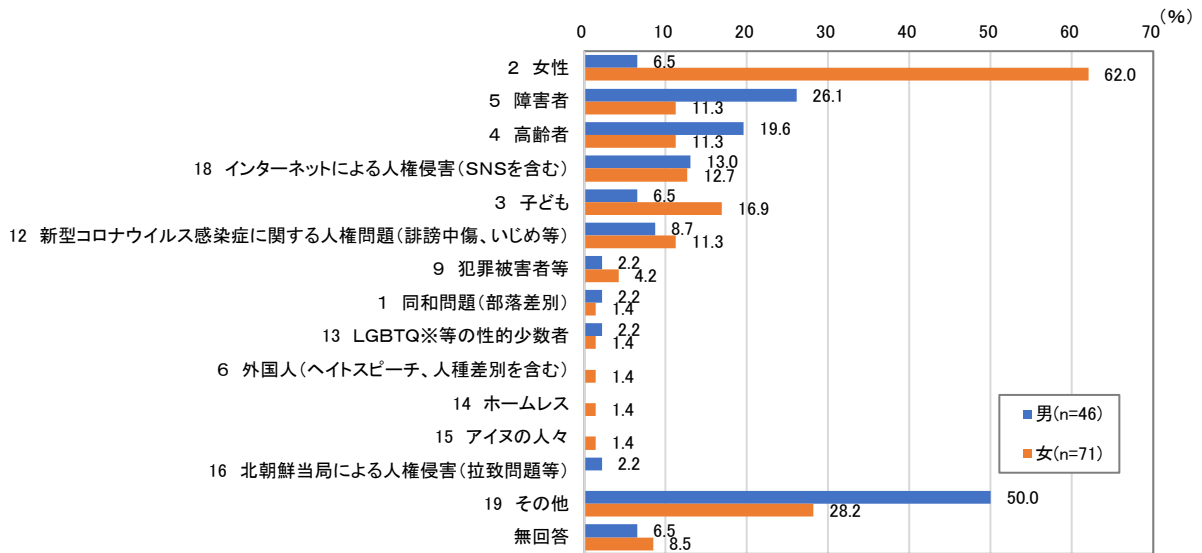


※LGBTQ … 女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシュアル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

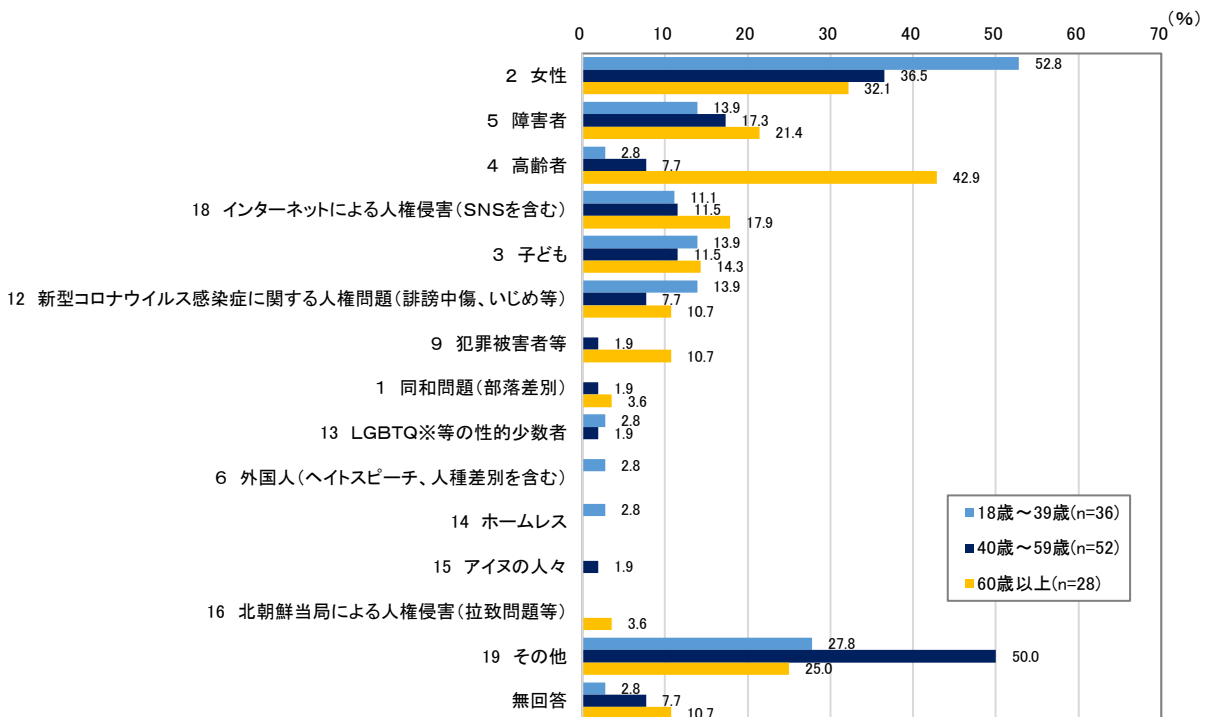
その他を選択し、記入された主なもの … 宗教、仕事上・職場でのいじめ、パワハラ など

3 人権侵害の経験について

性別で見ると、「男性」では、「その他」(50.0%)が5割と最も多くなっている。次に、「障害者」(26.1%)、「高齢者」(19.6%)と続いている。一方、「女性」では、「女性」(62.0%)が約6割と最も多くなっている。次に、「その他」(28.2%)、「子ども」(16.9%)と続いている。



年代別で見ると、「18歳～39歳」では、「女性」(52.8%)が約5割と最も多くなっている。次に、「その他」(27.8%)、「障害者」(13.9%)と「子ども」(13.9%)、「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷、いじめ等)」(13.9%)が同率で続いている。「40歳～59歳」では、「その他」(50.0%)が5割と最も多くなっている。次に、「女性」(36.5%)、「障害者」(17.3%)と続いている。「60歳以上」では、「高齢者」(42.9%)が約4割と最も多くなっている。次に、「女性」(32.1%)、「その他」(25.0%)と続いている。

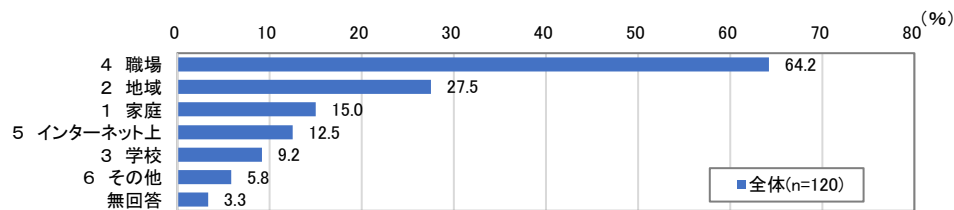


質問 15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

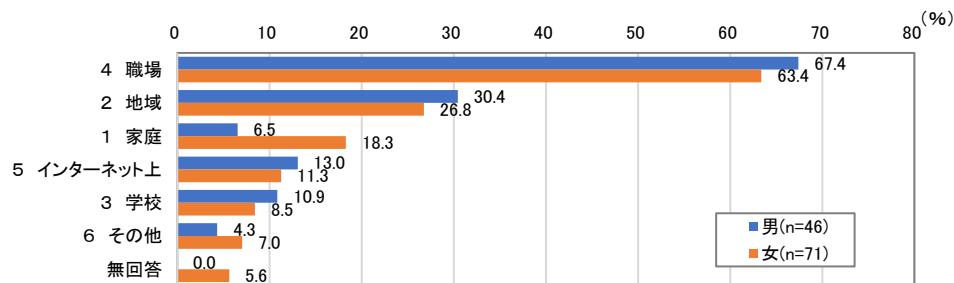
(4) その人権侵害はどこでありましたか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に入してください。

選択肢	回答数	割合
1 家庭	18	15.0%
2 地域	33	27.5%
3 学校	11	9.2%
4 職場	77	64.2%
5 インターネット上	15	12.5%
6 その他	7	5.8%
無回答	4	3.3%
対象	120	-

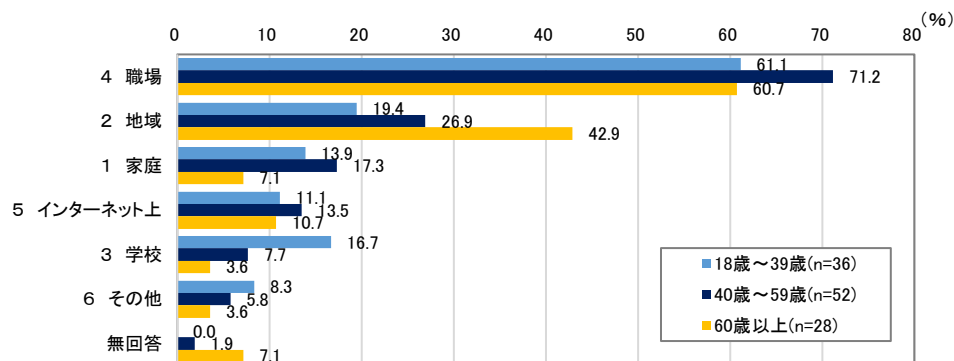
経験した人権侵害があった場所は、「職場」(64.2%)が約6割と最も多くなっている。次に、「地域」(27.5%)、「家庭」(15.0%)と続いている。



性別でみると、上位2項目は同じ項目であるものの、3番目に多い回答は、「男性」では、「インターネット上」(13.0%)、「女性」では「家庭」(18.3%)となっている。



年代別でみると、いずれの年代も、「職場」という回答が最も多い。特に、「40歳～59歳」(71.2%)では約7割と、他の年代よりも回答割合が高くなっている。また、2番目に多い、「地域」では、「60歳以上」(42.9%)で約4割と、他の年代よりも回答割合が高くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … 友人・知人、役所 など

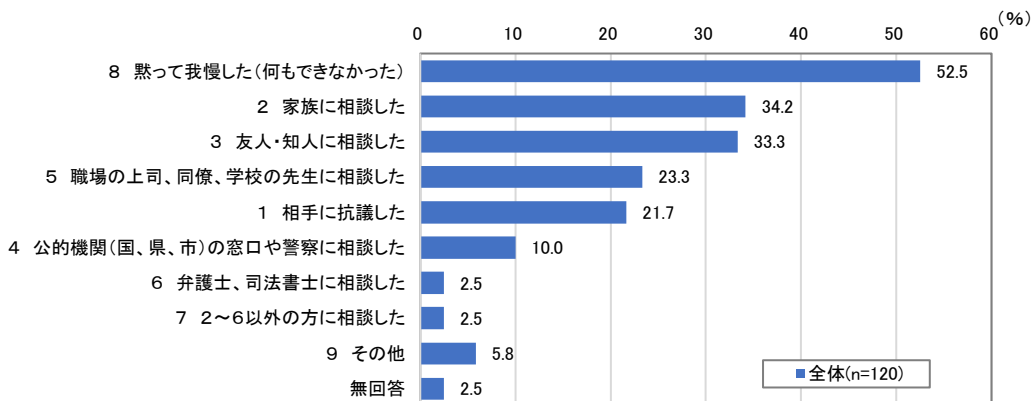
3 人権侵害の経験について

質問 15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

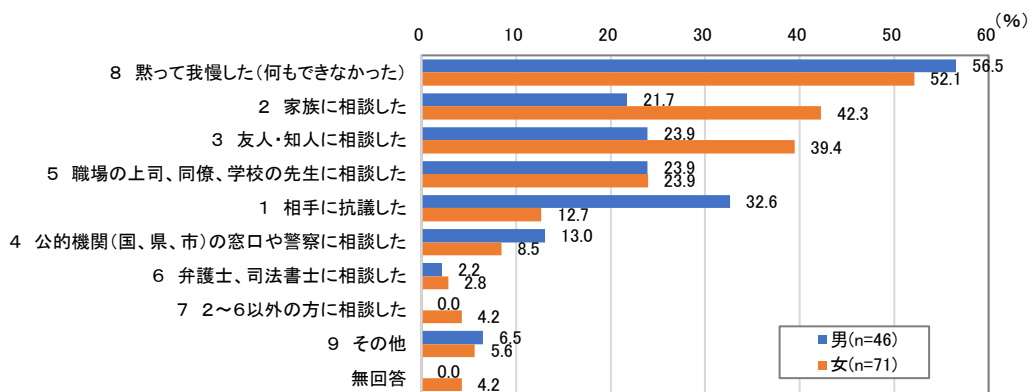
(5) 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どのような対応をしましたか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 相手に抗議した	26	21.7%
2 家族に相談した	41	34.2%
3 友人・知人に相談した	40	33.3%
4 公的機関(国、県、市)の窓口や警察に相談した	12	10.0%
5 職場の上司、同僚、学校の先生に相談した	28	23.3%
6 弁護士、司法書士に相談した	3	2.5%
7 2～6以外の方に相談した	3	2.5%
8 黙って我慢した(何もできなかった)	63	52.5%
9 その他	7	5.8%
無回答	3	2.5%
対象	120	-

人権を侵害されたと思った時の対応は、「黙って我慢した(何もできなかった)」(52.5%)が約5割と最も多くなっている。次に、「家族に相談した」(34.2%)、「友人・知人に相談した」(33.3%)と続いている。

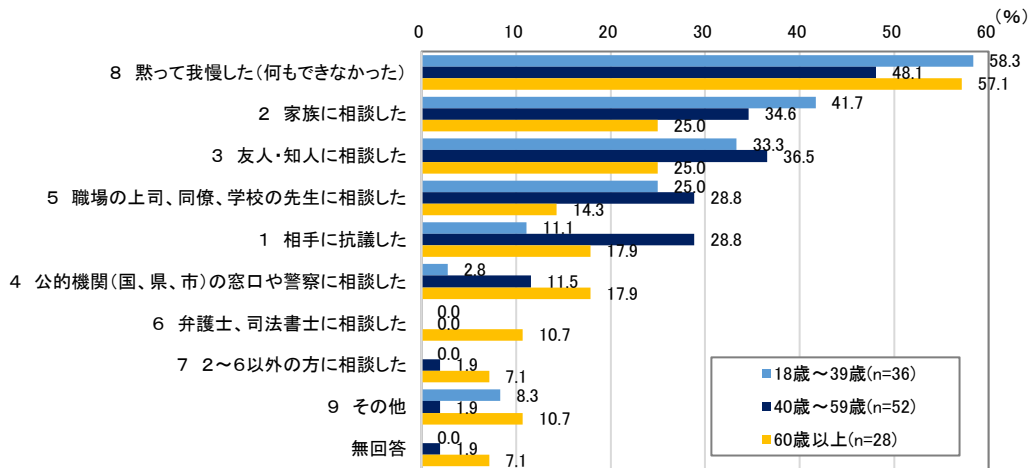


性別でみると、男女とも、「黙って我慢した(何もできなかった)」が5割を超え、最も多くなっている。次に、「男性」では、「相手に抗議した」(32.6%)、「友人・知人に相談した」(23.9%)と「職場の上司、同僚、学校の先生に相談した」(23.9%)が同率で続いている。一方、「女性」では、「家族に相談した」(42.3%)、「友人・知人に相談した」(39.4%)と続いている。



その他を選択し、記入された主なもの … 無視した、病院へ通院 など

年代別で見ると、いずれの年代も、「黙って我慢した(何もできなかった)」が最も多くなっている。「18歳～39歳」(58.3%)と「60歳以上」(57.1%)では約6割となるものの、「40歳～59歳」(48.1%)では約5割と、回答割合が低くなっている。一方、「相手に抗議した」では、「40歳～59歳」(28.8%)では約3割となり、「18歳～39歳」(11.1%)、「60歳以上」(17.9%)よりも回答割合が高くなっている。



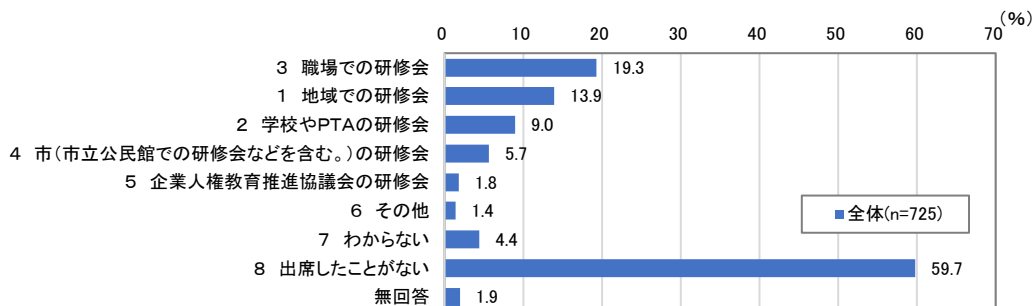
4 市の人権教育・啓発について

質問 16 人権意識の高揚やさまざまな人権課題の解決をめざして、地域、学校、PTA、職場などの各種団体で研修会（講演会を含む）が開催されています。研修会への参加について、次の質問にお答えください。

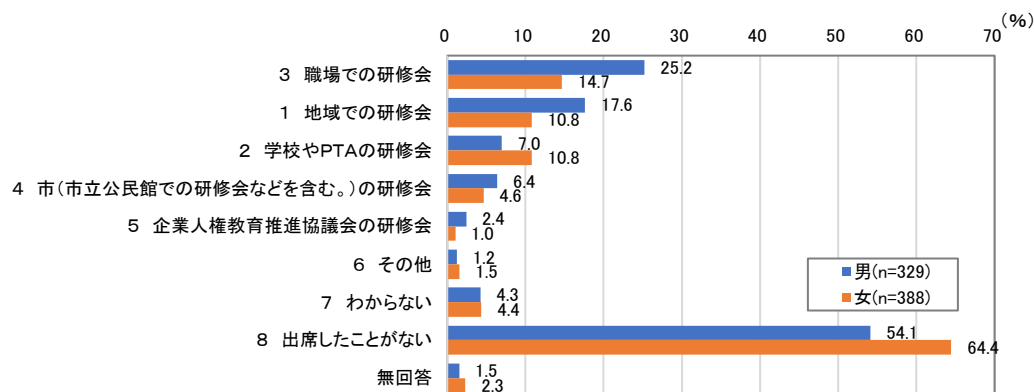
（1）あなたは、最近5年間にどのような団体の研修会へ参加したことがありますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 地域での研修会	101	13.9%
2 学校やPTAの研修会	65	9.0%
3 職場での研修会	140	19.3%
4 市(市立公民館での研修会などを含む。)の研修会	41	5.7%
5 企業人権教育推進協議会の研修会	13	1.8%
6 その他	10	1.4%
7 わからない	32	4.4%
8 出席したことがない	433	59.7%
無回答	14	1.9%
対象	725	-

最近5年間に参加した人権に関する研修会は、「出席したことがない」（59.7%）が約6割と最も多くなっている。次に、「職場での研修会」（19.3%）、「地域での研修会」（13.9%）と続いている。

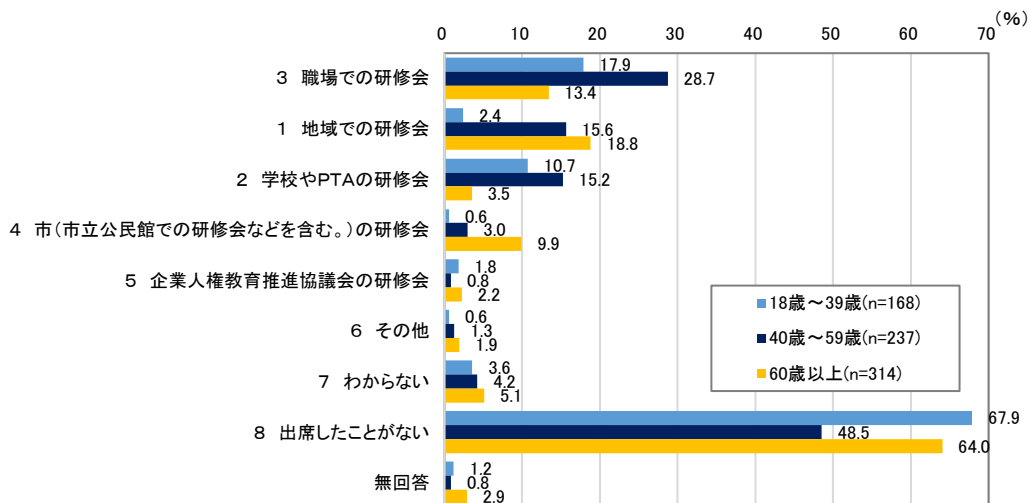


性別でみると、男女とも、「出席したことがない」が最も多くなっているものの、「男性」（54.1%）よりも「女性」（64.4%）の回答割合がやや高くなっている。また、「学校やPTAの研修会」でも、「女性」の回答割合が高くなっている。一方、「職場での研修会」、「地域での研修会」では、「男性」の回答割合が高くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … NPOによる研修会、資格取得の際 など

年代別で見ると、いずれの年代も、「出席したことがない」が最も多くなっている。「18歳～39歳」(67.9%)、「60歳以上」(64.0%)では6割を超え、「40歳～59歳」(48.5%)よりも高い回答割合となっている。また、「職場での研修会」では「40歳～59歳」で、「地域での研修会」では「40歳～59歳」と「60歳以上」で、「学校やPTAの研修会」では「18歳～39歳」と「40歳～59歳」で、「市(市立公民館での研修会などを含む。)の研修会」では「60歳以上」で、他の年代よりも回答割合が高くなっている。



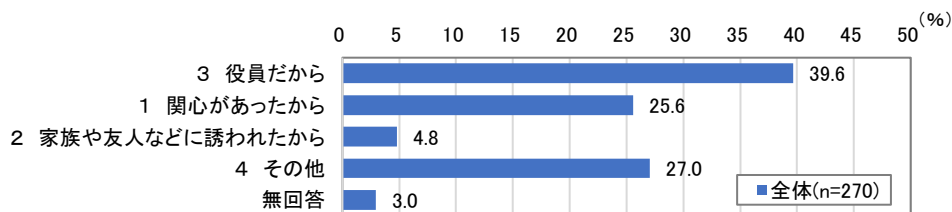
4 市の人権教育・啓発について

質問 16 人権意識の高揚やさまざまな人権課題の解決をめざして、地域、学校、PTA、職場などの各種団体で研修会（講演会を含む）が開催されています。研修会への参加について、次の質問にお答えください。

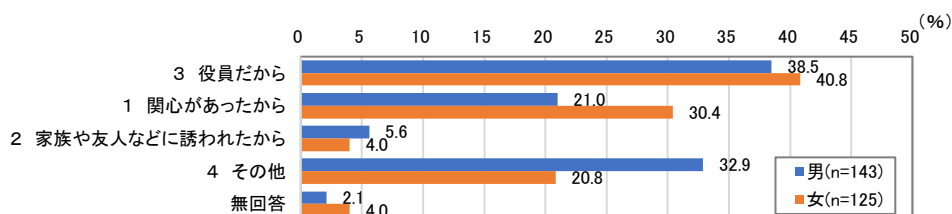
(2) (1) で「出席したことがある方」にお聞きします。研修会に参加したのはどのような理由からですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 関心があったから	69	25.6%
2 家族や友人などに誘われたから	13	4.8%
3 役員だから	107	39.6%
4 その他	73	27.0%
無回答	8	3.0%
合計	270	100.0%

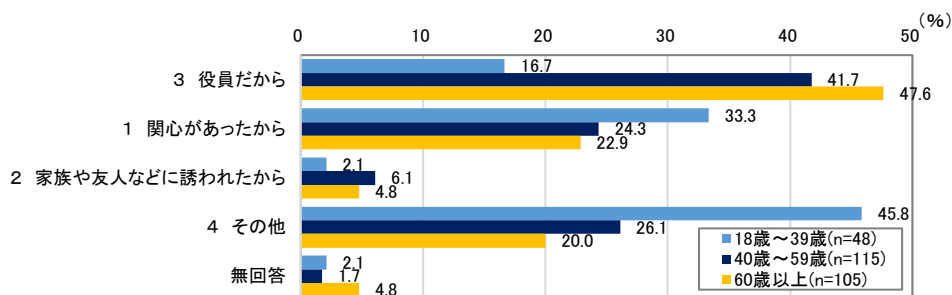
研修会に参加した理由は、「役員だから」（39.6%）が約4割と最も多くなっている。次に、「その他」（27.0%）、「関心があったから」（25.6%）と続いている。



性別でみると、男女とも、「役員だから」が約4割と最も多くなっている。次に、「男性」では、「その他」（32.9%）、「関心があったから」（21.0%）と続いている。一方、「女性」では、「関心があったから」（30.4%）、「その他」（20.8%）と続いている。



年代別でみると、「18歳～39歳」では、「その他」（45.8%）が約5割と最も多くなっている。次に、「関心あったから」（33.3%）、「役員だから」（16.7%）と続いている。「40歳～59歳」では、「役員だから」（41.7%）が約4割と最も多くなっている。次に、「その他」（26.1%）、「関心があったから」（24.3%）と続いている。「60歳以上」では、「役員だから」（47.6%）が約5割と最も多くなっている。次に、「関心があったから」（22.9%）、「その他」（20.0%）と続いている。



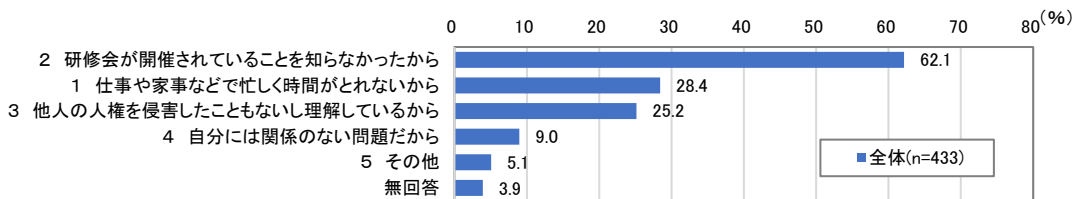
その他を選択し、記入された主なもの … 会社の指示・要請、職場での研修 など

質問 16 人権意識の高揚やさまざまな人権課題の解決をめざして、地域、学校、PTA、職場などの各種団体で研修会（講演会を含む）が開催されています。研修会への参加について、次の質問にお答えください。

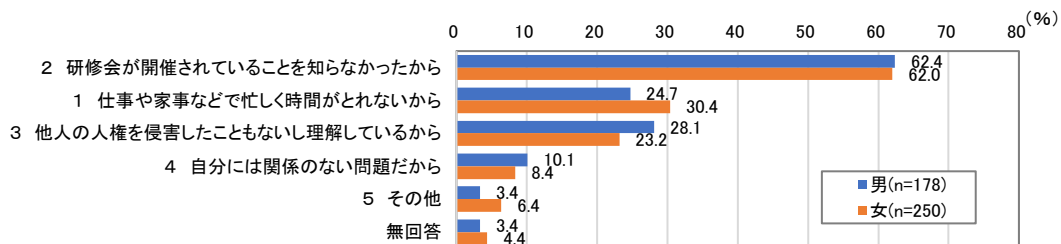
(3) (1) で「出席したことがない方」にお聞きします。研修会に参加しなかったのはどのような理由からですか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 仕事や家事などで忙しく時間がとれないから	123	28.4%
2 研修会が開催されていることを知らなかったから	269	62.1%
3 他人の人権を侵害したこともないし理解しているから	109	25.2%
4 自分には関係のない問題だから	39	9.0%
5 その他	22	5.1%
無回答	17	3.9%
対象	433	-

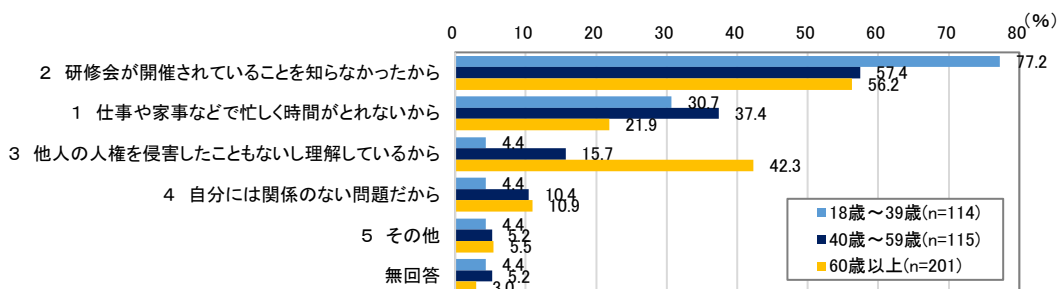
研修会に参加しなかった理由は、「研修会が開催されていることを知らなかったから」(62.1%) が約6割と最も多くなっている。次に、「仕事や家事などで忙しく時間がとれないから」(28.4%)、「他人の人権を侵害したこともないし理解しているから」(25.2%) と続いている。



性別でみると、男女とも、「研修会が開催されていることを知らなかったから」が約6割と最も多くなっている。次に、「男性」では「他人の人権を侵害したこともないし理解しているから」(28.1%) が、「女性」では「仕事や家事などで忙しく時間がとれないから」(30.4%) が続いている。



年代別でみると、いずれの年代も、「研修会が開催されていることを知らなかったから」が最も多くなっている。特に、「18歳～39歳」(77.2%) では、約8割となっている。また、「他人の人権を侵害したこともないし理解しているから」では、「60歳以上」(42.3%) で、他の年代よりも回答割合が高くなっている。



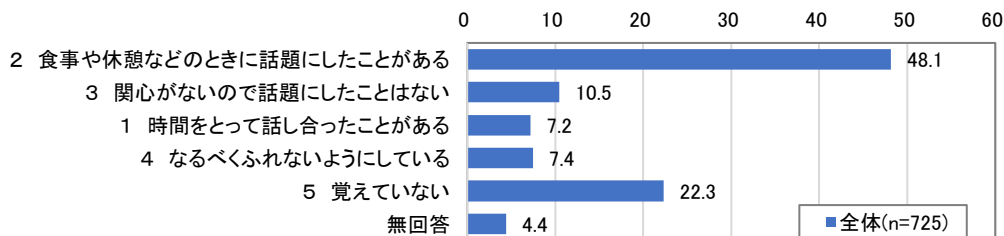
その他を選択し、記入された主なもの … 研修会の意味を感じないから など

4 市の人権教育・啓発について

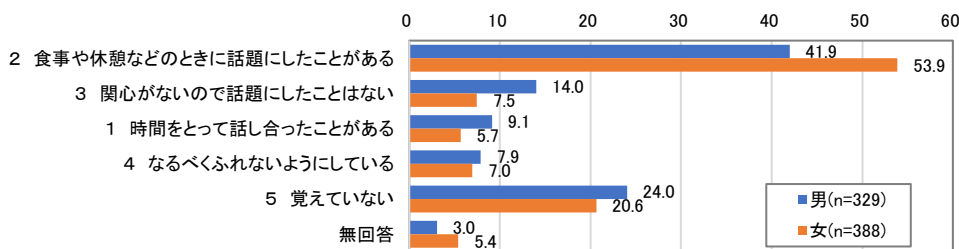
質問 17 あなたは、最近 1 年間に家庭、地域、職場などで、さまざまな人権について話し合ったり、話題にしたりしたことがありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 時間をとって話し合ったことがある	52	7.2%
2 食事や休憩などのときに話題にしたことがある	349	48.1%
3 関心がないので話題にしたことはない	76	10.5%
4 なるべくふれないようにしている	54	7.4%
5 覚えていない	162	22.3%
無回答	32	4.4%
合計	725	100.0%

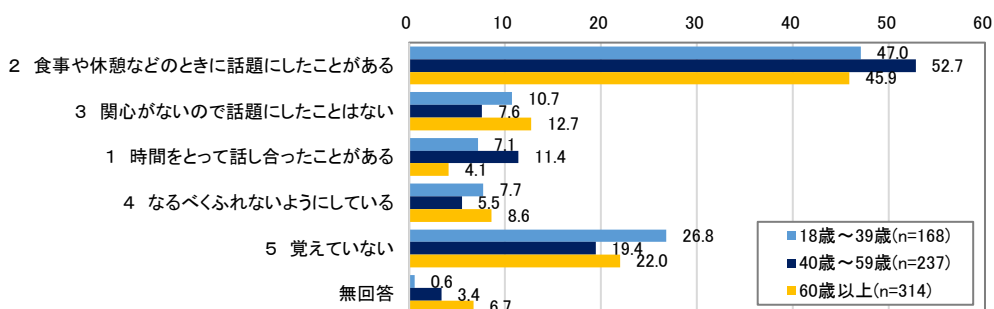
最近 1 年間に家庭、地域、職場などで、人権について話題にしたかについては、「食事や休憩などのときに話題にしたことがある」(48.1%) が約 5 割と最も多くなっている。次に、「覚えていない」(22.3%)、「関心がないので話題にしたことはない」(10.5%) と続いている。



性別でみると、男女とも、「食事や休憩などのときに話題にしたことがある」が最も多くなっているものの、「男性」(41.9%) よりも「女性」(53.9%) の回答割合が高くなっている。一方、「関心がないので話題にしたことはない」では、「女性」(7.5%) よりも「男性」(14.0%) の回答割合がやや高くなっている。



年代別でみると、いずれの年代も、「食事や休憩などのときに話題にしたことがある」が最も多くなっているものの、「18 歳～39 歳」(47.0%)、「60 歳以上」(45.9%) よりも「40 歳～59 歳」(52.7%) の回答割合がやや高くなっている。



質問 18 児童・生徒が、差別や偏見を自分のこととしてとらえ、人権問題について正しく理解し、豊かな人権感覚を身に付けるため、小・中学校では、日常的な人権教育の充実に取り組んでいます。

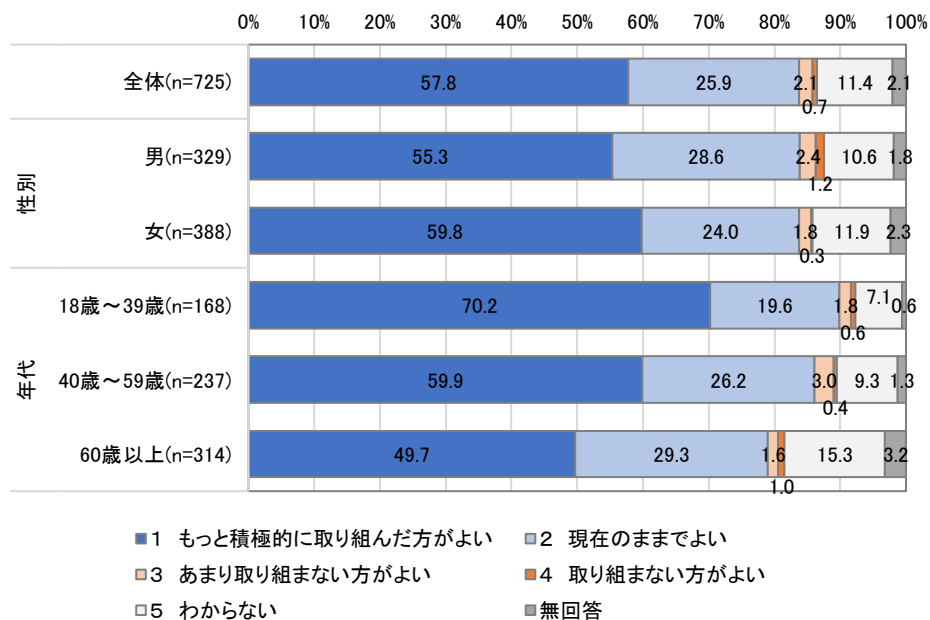
このことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。また、3・4を選択された方は、併せてその理由も記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 もっと積極的に取り組んだ方がよい	419	57.8%
2 現在のままでよい	188	25.9%
3 あまり取り組まない方がよい →下に理由を記入してください	15	2.1%
4 取り組まない方がよい →下に理由を記入してください	5	0.7%
5 わからない	83	11.4%
無回答	15	2.1%
合計	725	100.0%

小・中学校で実施されている日常的な人権教育については、「もっと積極的に取り組んだ方がよい」(57.8%)が約6割と最も多くなっている。次に、「現在のままでよい」(25.9%)、「わからない」(11.4%)と続いている。

性別でみると、男女とも、「もっと積極的に取り組んだ方がよい」が約6割と最も多くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も、「もっと積極的に取り組んだ方がよい」が最も多くなっている。特に、「18歳～39歳」(70.2%)では約7割となり、年代が低くなるほど、回答割合が高くなっている。一方、「現在のままでよい」では、年代が高くなるほど、回答割合が高くなっている。



「あまり取り組まない方がよい」の主な理由 … 教育で取り上げることが逆効果、教育内容に疑問
大人を教育すべき など

「取り組まない方がよい」の主な理由 … 教育が一方的、身近な大人が模範となるべき など

4 市の人権教育・啓発について

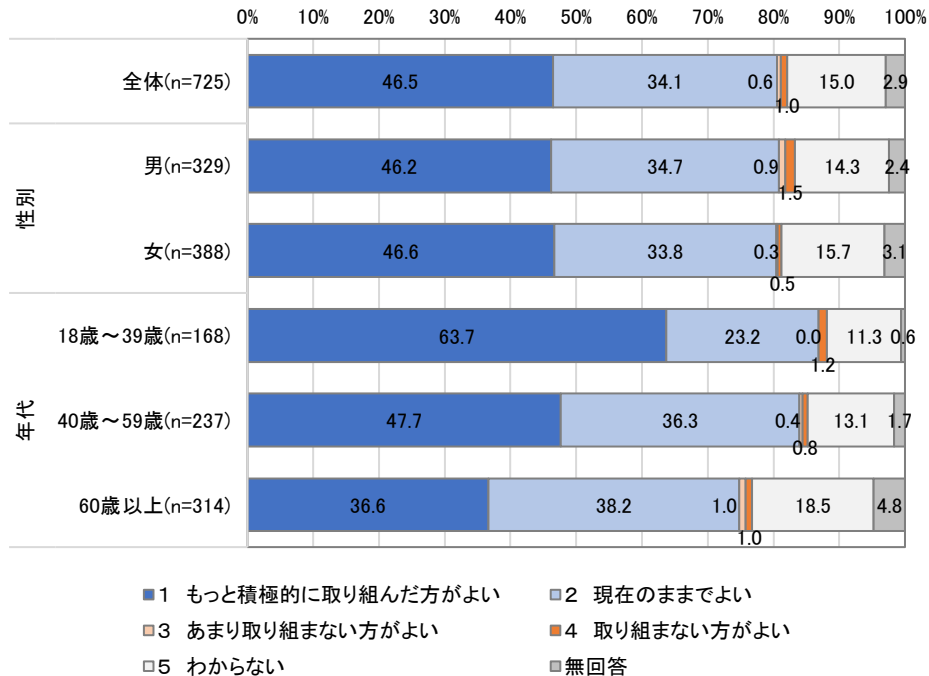
質問 19 地域（住民自治協議会など）、学校（PTA）、職場などで取り組んでいる社会人権教育について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。また、3・4を選択された方は、併せてその理由も記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 もっと積極的に取り組んだ方がよい	337	46.5%
2 現在のままでよい	247	34.1%
3 あまり取り組まない方がよい →下に理由を記入してください	4	0.6%
4 取り組まない方がよい →下に理由を記入してください	7	1.0%
5 わからない	109	15.0%
無回答	21	2.9%
合計	725	100.0%

地域、学校、職場での社会人権教育については、「もっと積極的に取り組んだ方がよい」（46.5%）が約5割と最も多くなっている。次に、「現在のままでよい」（34.1%）、「わからない」（15.0%）と続いている。

性別でみると、男女とも、ほぼ同じ傾向になっている。

年代別でみると、いずれの年代も、「もっと積極的に取り組んだ方がよい」が最も多くなっている。特に、「18歳～39歳」（63.7%）では約6割となり、年代が低くなるほど、回答割合が高くなっている。一方、「現在のままでよい」では、年代が高くなるほど、回答割合が高くなっている。



「あまり取り組まない方がよい」の主な理由 … 自分で解決すべき、身近な差別の解消を優先すべき など

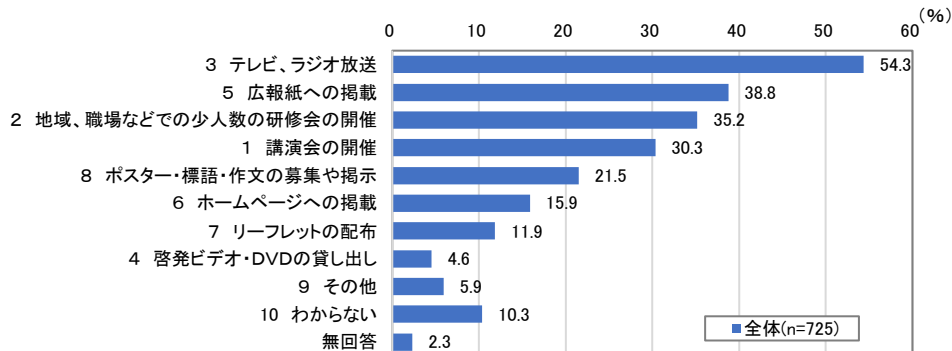
「取り組まない方がよい」の主な理由 … 情操教育を重視すべき、自然になくなるもの など

5 人権課題解決のための方策について

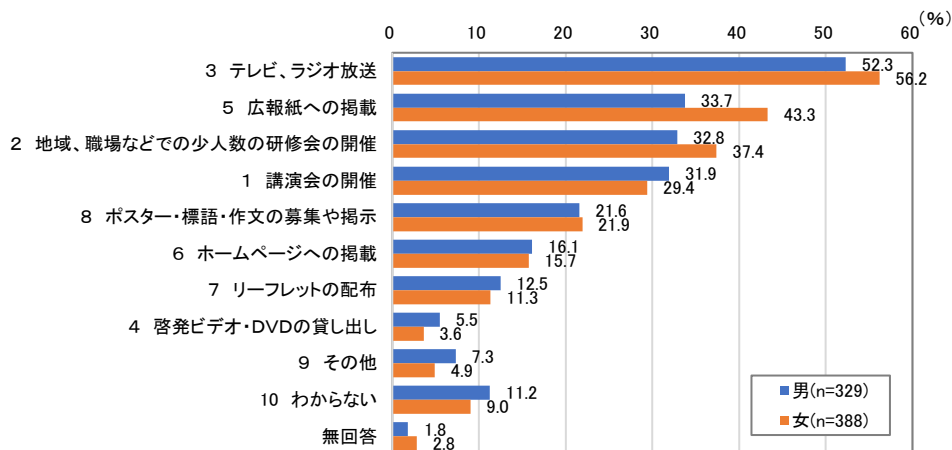
質問 20 あなたは、人権啓発を推進するために市民に対してどのような啓発活動が効果的であると思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 講演会の開催	220	30.3%
2 地域、職場などでの少人数の研修会の開催	255	35.2%
3 テレビ、ラジオ放送	394	54.3%
4 啓発ビデオ・DVDの貸し出し	33	4.6%
5 広報紙への掲載	281	38.8%
6 ホームページへの掲載	115	15.9%
7 リーフレットの配布	86	11.9%
8 ポスター・標語・作文の募集や掲示	156	21.5%
9 その他	43	5.9%
10 わからない	75	10.3%
無回答	17	2.3%
対象	725	-

人権啓発推進のための市民への効果的な啓発活動は、「テレビ、ラジオ放送」(54.3%)が約5割と最も多くなっている。次に、「広報紙への掲載」(38.8%)、「地域、職場などでの少人数の研修会の開催」(35.2%)と続いている。



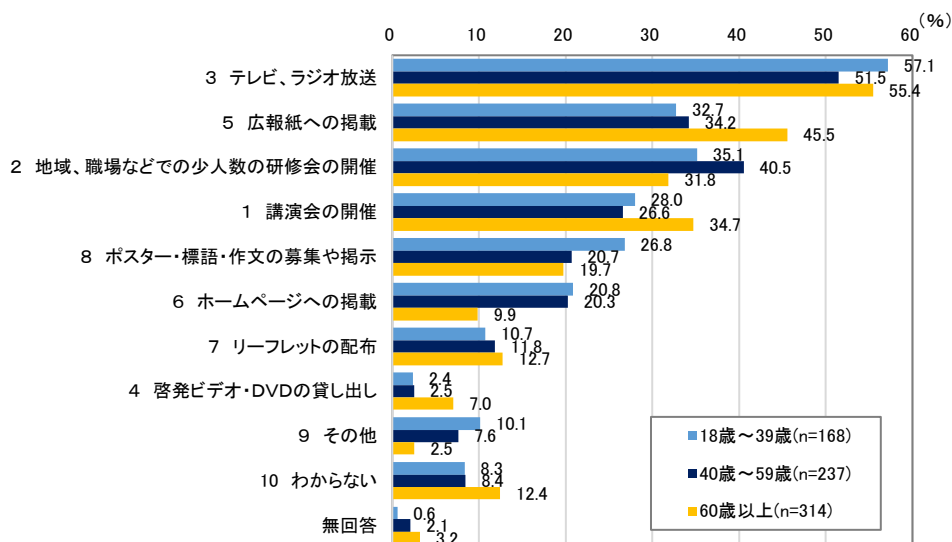
性別で見ると、男女とも同じ傾向になっているものの、「テレビ、ラジオ放送」、「広報紙への掲載」、「地域、職場などでの少人数の研修会の開催」では、「男性」よりも「女性」の回答割合がやや高くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … SNS・ツイッターなどでの発信、学校教育、新聞での啓蒙 など

5 人権課題解決のための方策について

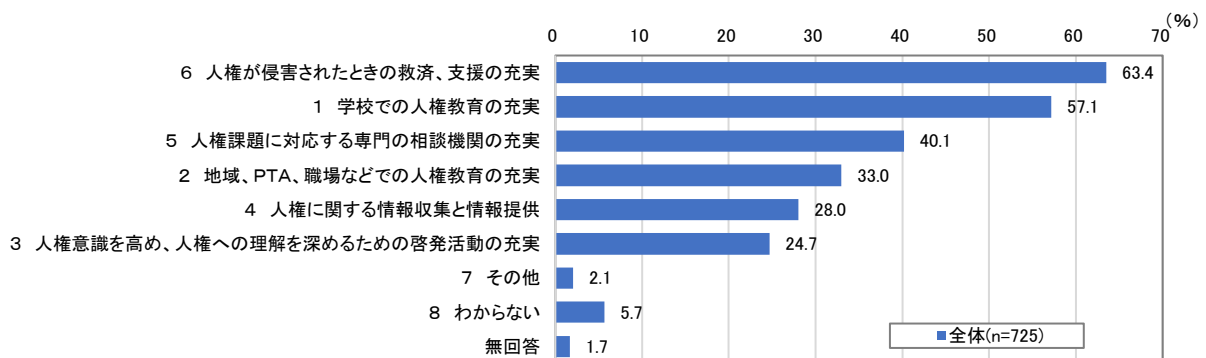
年代別で見ると、いずれの年代も、「テレビ、ラジオ放送」が最も多い回答となっている。次に、「18歳～39歳」、「40歳～59歳」では、「地域、職場などでの少人数の研修会の開催」、「広報紙への掲載」と続いている。一方、「60歳以上」では、「広報紙への掲載」、「講演会の開催」と続いている。



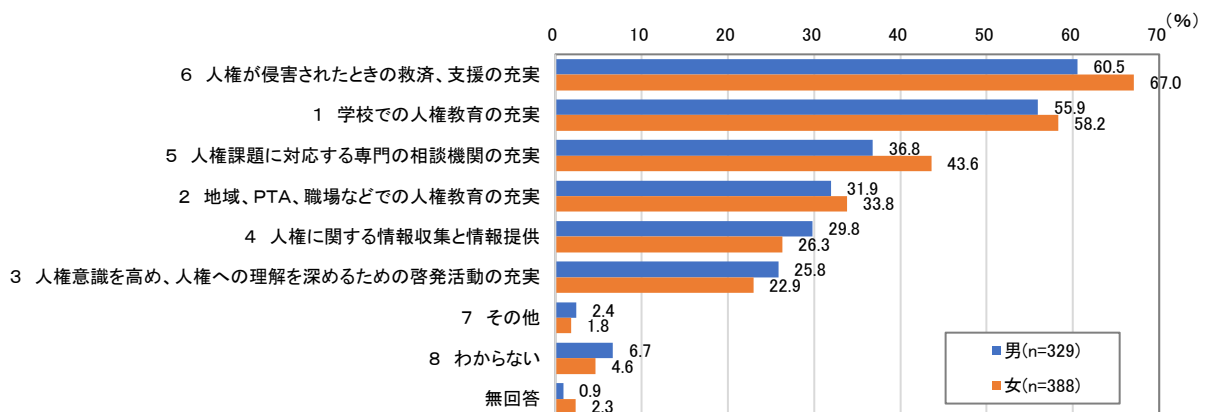
質問 21 あなたは、今後さまざまな人権課題の解決に向けて、市はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 学校での人権教育の充実	414	57.1%
2 地域、PTA、職場などでの人権教育の充実	239	33.0%
3 人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発活動の充実	179	24.7%
4 人権に関する情報収集と情報提供	203	28.0%
5 人権課題に対応する専門の相談機関の充実	291	40.1%
6 人権が侵害されたときの救済、支援の充実	460	63.4%
7 その他	15	2.1%
8 わからない	41	5.7%
無回答	12	1.7%
対象	725	-

人権課題の解決に向けた市の取り組みとしては、「人権が侵害されたときの救済、支援の充実」(63.4%) が約6割と最も多くなっている。次に、「学校での人権教育の充実」(57.1%)、「人権課題に対応する専門の相談機関の充実」(40.1%)と続いている。



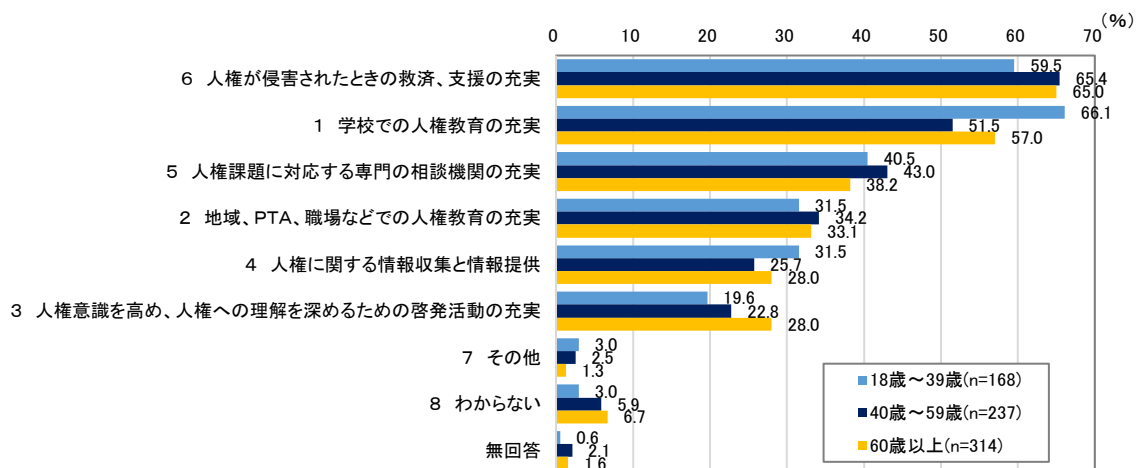
性別でみると、男女とも、ほぼ同じ傾向になっているものの、「人権が侵害されたときの救済、支援の充実」、「学校での人権教育の充実」、「人権課題に対応する専門の相談機関の充実」、「地域、PTA、職場などでの人権教育の充実」では、「男性」よりも「女性」の回答割合がやや高くなっている。



その他を選択し、記入された主なもの … SNS などでの発信、道徳教育、人権侵害をした人へのカウンセリング など

5 人権課題解決のための方策について

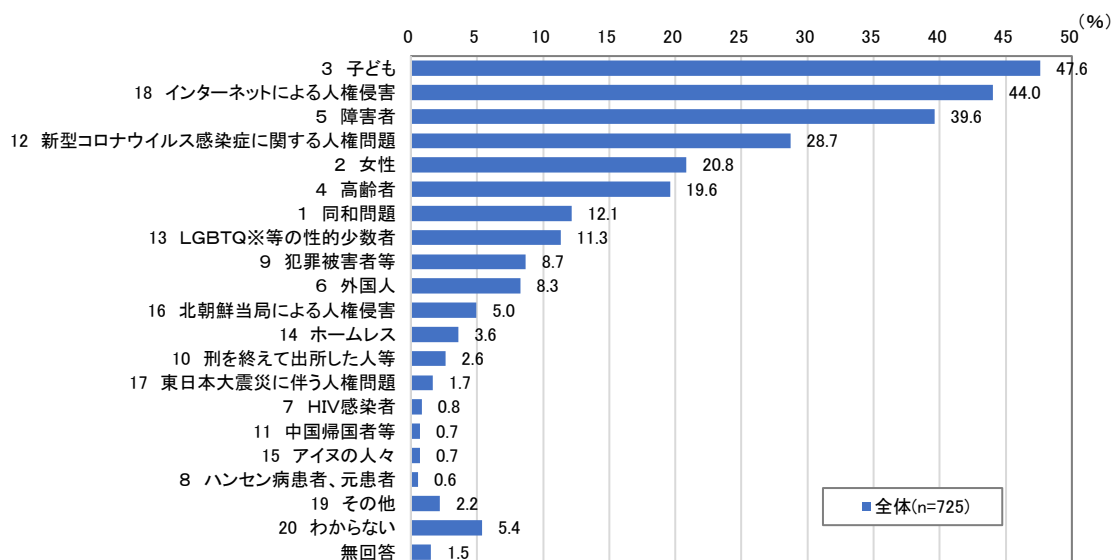
年代別で見ると、「18歳～39歳」では、「学校での人権教育の充実」(66.1%)が約7割と最も多くなっている。次に、「人権が侵害されたときの救済、支援の充実」(59.5%)、「人権課題に対応する専門の相談機関の充実」(40.5%)と続いている。「40歳～59歳」、「60歳以上」では、「人権が侵害されたときの救済、支援の充実」が約7割と最も多くなっている。次に、「学校での人権教育の充実」、「人権課題に対応する専門の相談機関の充実」と続いている。



質問 22 あなたは、さまざまな人権課題がある中で、市はどのような人権課題の解決に力を入れていけばよいと思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

選択肢	回答数	割合
1 同和問題(部落差別)	88	12.1%
2 女性	151	20.8%
3 子ども	345	47.6%
4 高齢者	142	19.6%
5 障害者	287	39.6%
6 外国人(ヘイトスピーチ、人種差別を含む)	60	8.3%
7 HIV感染者(エイズ感染者等を含む)	6	0.8%
8 ハンセン病患者、元患者	4	0.6%
9 犯罪被害者等	63	8.7%
10 刑を終えて出所した人等	19	2.6%
11 中国帰国者等	5	0.7%
12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(誹謗中傷、いじめ等)	208	28.7%
13 LGBTQ※等の性的少数者	82	11.3%
14 ホームレス	26	3.6%
15 アイヌの人々	5	0.7%
16 北朝鮮当局による人権侵害(拉致問題等)	36	5.0%
17 東日本大震災に伴う人権問題	12	1.7%
18 インターネットによる人権侵害(SNSを含む)	319	44.0%
19 その他	16	2.2%
20 わからない	39	5.4%
無回答	11	1.5%
対象	725	-

市が力を入れるべき人権課題は、「子ども」(47.6%)が約5割と最も多くなっている。次に、「インターネットによる人権侵害(SNSを含む)」(44.0%)、「障害者」(39.6%)と続いている。

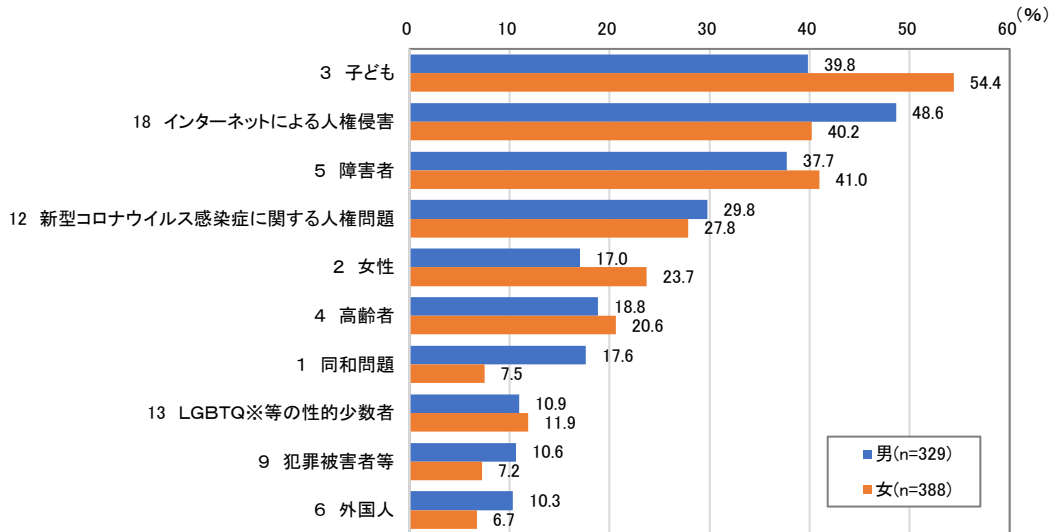


※LGBTQ … 女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシュアル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

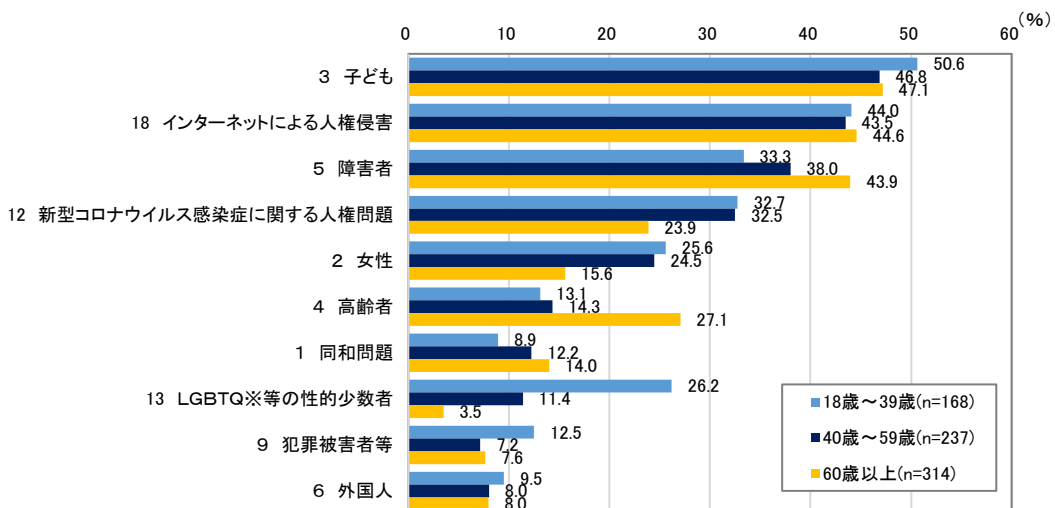
その他を選択し、記入された主なもの … 全て、人権教育の充実、発達障害 など

5 人権課題解決のための方策について

性別で見ると、「男性」では、「インターネットによる人権侵害（SNSを含む）」（48.6%）が約5割と最も多くなっている。次に、「子ども」（39.8%）、「障害者」（37.7%）と続いている。一方、「女性」では、「子ども」（54.4%）が約5割と最も多くなっている。次に、「障害者」（41.0%）、「インターネットによる人権侵害（SNSを含む）」（40.2%）と続いている。「同和問題」では、「女性」よりも「男性」の回答割合が高くなっている。また、「子ども」、「女性」では、「男性」よりも「女性」の回答割合が高くなっている。



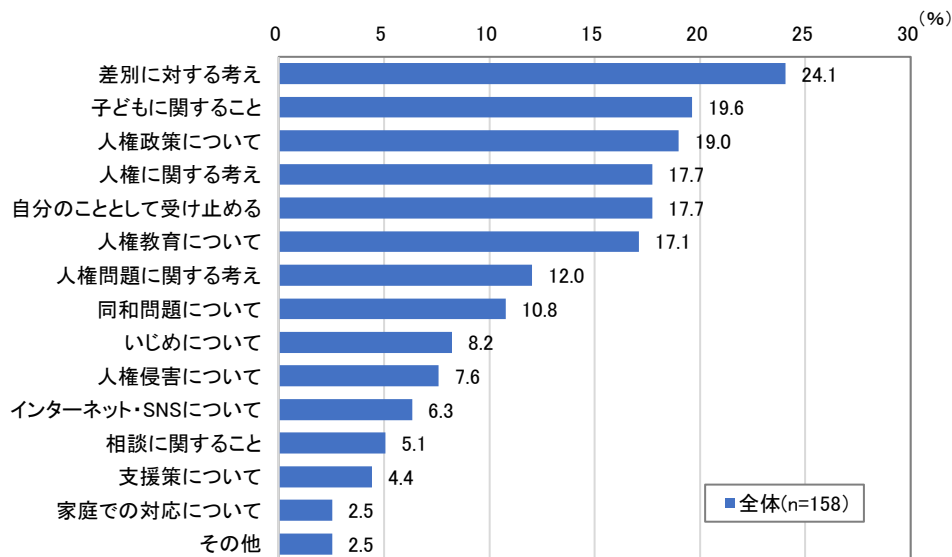
年代別で見ると、いずれの年代も、上位3項目は同じ内容となっている。「障害者」では、年代が高くなるほど、回答割合が高くなっている。「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷、いじめ等）」、「女性」では「18歳～39歳」と「40歳～59歳」が、「高齢者」では「60歳以上」が、「LGBTQ※等の性的少数者」では「18歳～39歳」が、他の年代よりも高い回答割合となっている。



質問 23 人権政策全般についてご意見がありましたら、お聞かせください。

選択肢	回答数	割合
文章あり	158	21.8%
文章無し	567	78.2%
合計	725	100.0%

人権政策全般についての意見は、158人、21.8%が記入している。記入された内容を類型化してみると、「差別に対する考え」(24.1%)が最も多い。次に、「子どもに関すること」(19.6%)、「人権政策について」(19.0%)、「人権に関する考え」(17.7%)、「自分のこととして受け止める」(17.7%)、「人権教育について」(17.1%)、「人権問題に関する考え」(12.0%)、「同和問題について」(10.8%)、「いじめについて」(8.2%)、「人権侵害について」(7.6%)、「インターネット・SNSについて」(6.3%)、「相談に関すること」(5.1%)、「支援策について」(4.4%)、「家庭での対応について」(2.5%)、「その他」(2.5%)と続いている。



各 位

「人権に関する市民意識調査」ご協力をお願い

皆様には日頃から市政にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、「すべての人が人間として尊重され、心豊かな生活を送ることができる明るく住みよい社会を築く」を人権政策の基本理念とし、様々な人権課題の解決に向けて、市民の皆様と一体となって施策を推進しております。

この調査は、「人権」についておたずねし、あらゆる差別をなくすための今後の本市の人権教育・啓発活動を実施していく上で基本的な資料となるものです。令和3年8月16日現在、市内にお住いの18歳以上80歳未満の市民の皆様から男女2,000人を年齢により、年代別に無作為によって選ばせていただいた中のお一人としてお願いするものです。この調査票への記入は、あて名のご本人にお願いいたします。

なお、この調査は無記名で行い、お答えはすべて数値に置き換え、統計的に処理した上で分析します。今後の施策推進や啓発のために使用し、集計結果として公表することはありますが、回答者の方にご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ、大変お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年9月

長野市長 加藤久雄

ご記入にあたってのお願い

- ★お答えは、当てはまる番号を、設問右側の回答欄へお書きください。
- ★「その他」に当てはまる場合や「選んだ理由」について、お手数をおかけしますが（ ）内等になるべく具体的に記入してください。
- ★一部の方だけお答えいただく設問もあります。
- ★ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**令和3年10月14日（木）**までにポストに投函してください。

この調査についてのお問い合わせは
長野市地域・市民生活部 人権・男女共同参画課
電 話：224-5032（直通）
ファクス：224-7547 までお願いします。

あなた自身のことについて

問A あなたの性別をおたずねします。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。
※戸籍上の性別とは関係なく、ご自身の主観でご記入ください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1 男 | 2 女 |
| 3 わからない・答えたくない | 4 その他 |

A

問B あなたの年齢をおたずねします。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18歳・19歳 | 2 20歳～29歳 |
| 3 30歳～39歳 | 4 40歳～49歳 |
| 5 50歳～59歳 | 6 60歳～69歳 |
| 7 70歳以上 | |

B

1 人権への関心について

質問1 あなたは「人権」について、どのような印象を持っていますか。次の(1)、(2)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

(1) 重要である。

- 1 そう思う
- 2 少しそう思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまりそう思わない
- 5 そうは思わない

1-(1)

(2) 自分に関係が深い。

- 1 そう思う
- 2 少しそう思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまりそう思わない
- 5 そうは思わない

1-(2)

質問2 日本の社会では、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人などの差別をはじめ、さまざまな人権課題がありますが、あなたは、人権問題（侵害）に関心がありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまり関心がない
- 5 関心がない

2

質問3 人権に関わる次のことがらについて、切実な問題と思われるものはどれですか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1 同和問題（部落差別） | 2 女性 |
| 3 子ども | 4 高齢者 |
| 5 障害者 | 6 外国人（ヘイトスピーチ、人種差別を含む） |
| 7 HIV感染者（エイズ感染者等を含む） | 8 ハンセン病患者、元患者 |
| 9 犯罪被害者等 | 10 刑を終えて出所した人等 |
| 11 中国帰国者等 | 12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷、いじめ等） |
| 13 LGBTQ※等の性的少数者 | |
| 14 ホームレス | |
| 15 アイヌの人々 | |
| 16 北朝鮮当局による人権侵害（拉致問題等） | |
| 17 東日本大震災に伴う人権問題 | |
| 18 インターネットによる人権侵害（SNSを含む） | |
| 19 その他（具体的に： _____） | |
| 20 特になし | |

3	

※LGBTQ…女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシュアル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

2 様々な人権課題について

質問4 同和問題（部落差別）について、次の質問にお答えください。

(1) あなたは、部落差別が今もあると思いますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 ある
2 ない → (3) へ
3 わからない → (3) へ

4-(1)

--

(2) (1) で「1 ある」と答えた方にお聞きします。同和問題（部落差別）に関することから、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 結婚を家族や親戚などから反対されること
2 就職や仕事の内容・待遇などで不利な扱いを受けること
3 差別的な言動をされること
4 差別的な落書きをされること
5 身元調査をされること
6 インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること
7 同和問題に関する過去の個人情報が流出したこと
8 その他（具体的に： _____）
9 わからない

4-(2)

(3) 結婚していないお子さんがいる方は ア・イ に、結婚されていない方は ウ にお答えください。
どちらでもない方は (4) へお進みください。

ア [結婚していないお子さんがいる方がお答えください。]
あなたのお子さんが結婚しようとする際に、相手の身元調査をしますか。次の中から番号を一つ
選び、右の口に記入してください。

- 1 する 4-(3)-ア
 - 2 しない
 - 3 わからない
-

イ [結婚していないお子さんがいる方がお答えください。]
あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落出身の人であると知った場合、あなたは
どうしますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 親として賛成し、協力する
 - 2 親が口出しすべきことではなく、子どもの意思を尊重する
 - 3 親としては反対するが、子どもの意思が強ければ仕方がない
 - 4 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない (家族や親戚の反対がなければ認める)
 - 5 絶対に結婚を認めない
 - 6 その他 (具体的に：)
 - 7 わからない
-) 4-(3)-イ
-

ウ [結婚されていない方がお答えください。]
あなたが被差別部落出身の人と恋愛し結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けた
ら、あなたはどうしますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 自分の意思を貫いて結婚する
 - 2 家族や親戚の反対があるので結婚しない
 - 3 その他 (具体的に：)
 - 4 わからない
-) 4-(3)-ウ
-

(4) 同和問題 (部落差別) の解決に対するあなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から番
号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 自分自身の問題として解決に努力する
 - 2 同和問題についての学習をする
 - 3 誰かしかるべき人が解決してくれる
 - 4 自分とは直接関係のない問題だ
 - 5 そっとしておけば差別は自然になくなる
 - 6 どのようにしても差別はなくなる
 - 7 わからない
- 4-(4)
-

質問5 あなたは、女性に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事・育児」など）を押しつけられること
- 2 女性が責任ある役職に就こうとすると、男性や他の女性から反対されること
- 3 入試、就職、仕事内容、待遇などで不利な扱いを受けること
- 4 配偶者や交際相手から暴力をふるわれること
- 5 女性に対するハラスメント（セクシュアル・ハラスメント※、マタニティ・ハラスメント※、モラル・ハラスメント※）等を受けること
- 6 売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む。）、女性の働く風俗営業があること
- 7 女性の性を強調した広告・雑誌などが存在していること
- 8 シングルマザーの貧困が存在すること
- 9 その他（具体的に：
- 10 人権問題は特にな
- 11 わからない

5

※セクシュアル・ハラスメント … 性的嫌がらせ

※マタニティ・ハラスメント …… 妊娠・出産に伴う嫌がらせ

※モラル・ハラスメント …………… 言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ

質問6 あなたは、子どもに関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 無視、仲間はずし、暴力などの心身に苦痛を生じさせるいじめ（インターネットを通じて行われるものを含む。）を受けること
- 2 教員により言葉の暴力や体罰を受けること
- 3 保護者から暴力をふるわれたり、食事を与えられないなどの虐待を受けること
- 4 貧困が存在すること
- 5 大人の意見や価値観を押し付けられること
- 6 大人がプライバシーを尊重しないこと
- 7 児童買春、児童ポルノなどが存在すること
- 8 ヤングケアラー※の問題があること
- 9 その他（具体的に：
- 10 人権問題は特にな
- 11 わからない

6

※ヤングケアラー…家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話などを行っている18歳未満の子どものことをいいます。

質問7 あなたは、高齢者に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 貧困により経済的に自立が困難なこと
- 2 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 3 悪質商法や詐欺の被害を受けやすいこと
- 4 家庭、病院、福祉施設での看護や介護において、劣悪な処遇や虐待を受けること
- 5 高齢者が邪魔者扱され、意見や行動が尊重されないこと
- 6 認知症や高齢者の特性についての理解が進まないこと
- 7 家族や地域とのつながりが乏しく、孤立していること
- 8 その他（具体的に：
- 9 人権問題は特にな
- 10 わからない

7

質問 8 あなたは、障害者に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 結婚を家族や親戚などから反対されること
- 2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 社会参画や働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 5 福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
- 6 アパート等を容易に借りることができないこと
- 7 スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 9 障害に関する理解が進まないことや、障害の特性に応じた配慮を受けられないこと
- 10 その他（具体的に：)
- 11 人権問題は特にない
- 12 わからない

8

質問 9 あなたは、日本に居住している外国人に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 交際や関わりを避けられるなど、地域での理解や認識が十分でないこと
- 2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること
- 3 政治への参画の機会が少ないこと
- 4 言語が異なるため、保健、医療、福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと
- 5 結婚を家族や親戚などから反対されること
- 6 アパート等への入居を拒否されること
- 7 ヘイトスピーチなど特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動を受けること
- 8 その他（具体的に：)
- 9 人権問題は特にない
- 10 わからない

9

質問 10 あなたは、HIV感染者（エイズ感染者等を含む）やその家族に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 結婚を家族や親戚などから反対されること
- 2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること
- 3 治療や入院を断わられること
- 4 無断でエイズ検査などをされること
- 5 差別的な言動を受けること
- 6 アパート等への入居や宿泊を拒否されること
- 7 その他（具体的に：)
- 8 人権問題は特にない
- 9 わからない

10

質問11 あなたは、ハンセン病患者・元患者やその家族に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 結婚を家族や親戚などから反対されること
- 2 就職や仕事の内容・待遇で不利な扱いを受けること
- 3 治療や入院を断られること
- 4 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと
- 5 差別的な言動を受けること
- 6 アパート等への入居や宿泊を拒否されること
- 7 ハンセン病に関する過去の個人情報が出たこと
- 8 その他（具体的に：)
- 9 人権問題は特にない
- 10 わからない

11

質問12 あなたは、犯罪被害者やその家族に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
- 2 犯罪行為によって経済的負担を受けること
- 3 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- 4 相談窓口で相談しても期待どおりの結果が得られないこと
- 5 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
- 6 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されないこと
- 7 報道によってプライバシーが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
- 8 精神的、経済的な負担について周囲からの理解が不足していること
- 9 その他（具体的に：)
- 10 人権問題は特にない
- 11 わからない

12

質問13 あなたは、LGBTQ※等の性的少数者に関することからで、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 学校、職場において差別的な言動や嫌がらせを受けること
- 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 3 宿泊施設等の利用、店舗への入店や、住宅への入居等を拒否されること
- 4 法的支援制度が整っていないこと
- 5 L G B T Q※等の性的少数者に対する理解が足りないこと
- 6 その他（具体的に：)
- 7 人権問題は特にない
- 8 わからない

13

※L G B T Q…女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシュアル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

質問14 あなたは、SNSをはじめとしたインターネットによる人権侵害に関することから、現在、どのような人権上の問題が起こっていると思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 他人を誹謗中傷する表現を掲載すること
- 2 差別を助長する表現を掲載すること
- 3 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 4 プライバシーに関する情報を掲載すること
- 5 ネットポルノが存在していること（リベンジポルノ（元交際相手等の性的な画像等を相手の同意を得ることなくインターネットの掲示板に公表する行為）を含む）
- 6 災害時などにフェイクニュース（真実ではない情報）や誤った情報が拡散されること
- 7 その他（具体的に：)
- 8 人権問題は特にない
- 9 わからない

14

3 人権侵害の経験について

質問15 人権侵害にあった経験について、次の質問にお答えください。

(1) あなたは、最近5年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 ある
- 2 ない →質問16へ

15-(1)

--

(2) (1)で「1 ある」と答えた方にお聞きます。その人権侵害はどのようなものでしたか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 悪口を言われた、かげ口を言われた、うわさ話を流された
- 2 仲間はずしされた、無視された
- 3 プライバシーを侵害された
- 4 名誉や信用を傷つけられた、侮辱された
- 5 差別的で不平等な待遇を受けた
- 6 暴力を受けた、脅迫された、強要された
- 7 虐待を受けた
- 8 ストーカー的な行為を受けた
- 9 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を受けた
- 10 マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産に伴う嫌がらせ）を受けた
- 11 モラル・ハラスメント（言葉や態度による精神的な暴力、嫌がらせ）を受けた
- 12 パワー・ハラスメント（職場内の優位性を背景にしたいじめ、嫌がらせ）を受けた
- 13 その他（具体的に：)

15-(2)

(3) その人権侵害はどのような人権問題に関わることだと思いますか。次の中から特に切実と考える番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- | | | |
|---------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 1 同和問題（部落差別） | 2 女性 | |
| 3 子ども | 4 高齢者 | |
| 5 障害者 | 6 外国人（ヘイトスピーチ、人種差別を含む） | |
| 7 HIV感染者（エイズ感染者等を含む） | 8 ハンセン病患者、元患者 | |
| 9 犯罪被害者等 | 10 刑を終えて出所した人等 | |
| 11 中国帰国者等 | 12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷、いじめ等） | 15-(3) |
| 13 L G B T Q※等の性的少数者 | | <input type="text"/> |
| 14 ホームレス | | <input type="text"/> |
| 15 アイヌの人々 | | <input type="text"/> |
| 16 北朝鮮当局による人権侵害（拉致問題等） | | |
| 17 東日本大震災に伴う人権問題 | | |
| 18 インターネットによる人権侵害（SNSを含む） | | |
| 19 その他（具体的に： _____） | | |

※L G B T Q…女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシュアル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

(4) その人権侵害はどこでありましたか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- | | | |
|--------------------|--|----------------------|
| 1 家庭 | | 15-(4) |
| 2 地域 | | <input type="text"/> |
| 3 学校 | | <input type="text"/> |
| 4 職場 | | <input type="text"/> |
| 5 インターネット上 | | |
| 6 その他（具体的に： _____） | | |

(5) 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どのような対応をしましたか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- | | | |
|--------------------------|--|----------------------|
| 1 相手に抗議した | | |
| 2 家族に相談した | | |
| 3 友人・知人に相談した | | |
| 4 公的機関（国、県、市）の窓口や警察に相談した | | 15-(5) |
| 5 職場の上司、同僚、学校の先生に相談した | | <input type="text"/> |
| 6 弁護士、司法書士に相談した | | <input type="text"/> |
| 7 2～6以外の方に相談した | | <input type="text"/> |
| 8 黙って我慢した（何もできなかった） | | |
| 9 その他（具体的に： _____） | | |

4 市の人権教育・啓発について

質問 16 人権意識の高揚やさまざまな人権課題の解決をめざして、地域、学校、PTA、職場などの各種団体で研修会（講演会を含む）が開催されています。研修会への参加について、次の質問にお答えください。

(1) あなたは、最近5年間にどのような団体の研修会へ参加したことがありますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 地域での研修会
- 2 学校やPTAの研修会
- 3 職場での研修会
- 4 市（市立公民館での研修会などを含む。）の研修会
- 5 企業人権教育推進協議会の研修会
- 6 その他（具体的に：
- 7 わからない
- 8 出席したことがない

16-(1)

(2) (1) で「出席したことがある方」にお聞きします。研修会に参加したのはどのような理由からですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 関心があったから
- 2 家族や友人などに誘われたから
- 3 役員だから
- 4 その他（具体的に：

16-(2)

--

(3) (1) で「出席したことがない方」にお聞きします。研修会に参加しなかったのはどのような理由からですか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 仕事や家事などで忙しく時間がとれないから
- 2 研修会が開催されていることを知らなかったから
- 3 他人の人権を侵害したこともないし理解しているから
- 4 自分には関係のない問題だから
- 5 その他（具体的に：

16-(3)

質問 17 あなたは、最近1年間に家庭、地域、職場などで、さまざまな人権について話し合ったり、話題にしたりしたことがありますか。次の中から番号を一つ選び、右の口に記入してください。

- 1 時間をとって話し合ったことがある
- 2 食事や休憩などのときに話題にしたことがある
- 3 関心がないので話題にしたことはない
- 4 なるべくふれないようにしている
- 5 覚えていない

17

--

質問 18 児童・生徒が、差別や偏見を自分のこととしてとらえ、人権問題について正しく理解し、豊かな人権感覚を身に付けるため、小・中学校では、日常的な人権教育の充実に取り組んでいます。このことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に入力してください。また、3・4を選択された方は、併せてその理由も記入してください。

- 1 もっと積極的に取り組んだ方がよい
- 2 現在のままでよい
- 3 あまり取り組まない方がよい →下に理由を記入してください
- 4 取り組まない方がよい →下に理由を記入してください
- 5 わからない

18

3・4を選んだ理由

質問 19 地域（住民自治協議会など）、学校（PTA）、職場などで取り組んでいる社会人権教育について、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から番号を一つ選び、右の口に入力してください。また、3・4を選択された方は、併せてその理由も記入してください。

- 1 もっと積極的に取り組んだ方がよい
- 2 現在のままでよい
- 3 あまり取り組まない方がよい →下に理由を記入してください
- 4 取り組まない方がよい →下に理由を記入してください
- 5 わからない

19

3・4を選んだ理由

5 人権課題解決のための方策について

質問 20 あなたは、人権啓発を推進するために市民に対してどのような啓発活動が効果的だと思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に入力してください。

- 1 講演会の開催
- 2 地域、職場などでの少人数の研修会の開催
- 3 テレビ、ラジオ放送
- 4 啓発ビデオ・DVDの貸し出し
- 5 広報紙への掲載
- 6 ホームページへの掲載
- 7 リーフレットの配布
- 8 ポスター・標語・作文の募集や掲示
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 わからない

20

質問 21 あなたは、今後さまざまな人権課題の解決に向けて、市はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 学校での人権教育の充実
- 2 地域、PTA、職場などでの人権教育の充実
- 3 人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発活動の充実
- 4 人権に関する情報収集と情報提供
- 5 人権課題に対応する専門の相談機関の充実
- 6 人権が侵害されたときの救済、支援の充実
- 7 その他（具体的に：)
- 8 わからない

21

質問 22 あなたは、さまざまな人権課題がある中で、市はどのような人権課題の解決に力を入れていけばよいと思いますか。次の中から番号を三つ以内で選び、右の口に記入してください。

- 1 同和問題（部落差別）
- 2 女性
- 3 子ども
- 4 高齢者
- 5 障害者
- 6 外国人（ヘイトスピーチ、人種差別を含む）
- 7 HIV感染者（エイズ感染者等を含む）
- 8 ハンセン病患者、元患者
- 9 犯罪被害者等
- 10 刑を終えて出所した人等
- 11 中国帰国者等
- 12 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（誹謗中傷、いじめ等）
- 13 LGBTQ※等の性的少数者
- 14 ホームレス
- 15 アイヌの人々
- 16 北朝鮮当局による人権侵害（拉致問題等）
- 17 東日本大震災に伴う人権問題
- 18 インターネットによる人権侵害（SNSを含む）
- 19 その他（具体的に：)
- 20 わからない

22

※LGBTQ…女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシュアル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

質問 23 人権政策全般についてご意見がありましたら、お聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。
 同封の返信用封筒により、10月14日（木）までにポストへご投函ください。
 ※切手は貼らずにお出してください。
 ※ご住所、お名前等の記入は必要ありません。

令和4年1月発行

「人権に関する市民意識調査」のまとめ

発行 長野市・長野市教育委員会
編集 地域・市民生活部 人権・男女共同参画課
長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
電話 224-5032 (直通) F A X 224-7547
E-mail : jinken-danjo@city.nagano.lg.jp

集計 協同組合 長野C I 開発センター
